

**HP
KAYAK**



HP Kayak XM600 デスクトップ PC Workstations
High-Performance Desktops
ユーザズ ガイド



HP Kayak XM600 Series 2

および HP Kayak XM600

このユーザーズ ガイドは、ソケット マウント式プロセッサを搭載する **HP Kayak XM600 Series 2** について解説します。これらの PC のモデル番号は P2190N 以上になります。

スロット マウント式プロセッサ搭載の **HP Kayak XM600** 用には別のマニュアルが用意されています。

各 PC には、ケース外側にその PC のシリーズ名を示すサポート ラベルが貼付されています。このラベルは正面から向かって右側の側面パネル下部にあります。

サポート ラベルには、モデル名、モデル番号、シリアル 番号が記載されています。

HP Kayak XM600

Dxxxx (すべて) および Pxxxx (最大 P2189N まで) のモデル番号

または

HP Kayak XM600 Series 2

P2190N 以上のモデル番号

ユーザーズガイド

目次

ご注意	5
ご使用上の注意.....	16
インフォメーションとヘルプ.....	18
快適に作業を行うために(人間工学的アドバイス).....	19
技術情報.....	10
1 PC ワークステーションのセットアップと使用方法	11
デバイスの接続.....	12
PC ワークステーションの起動と終了.....	13
HP 拡張マルチメディア キーボードを使う (一部のモデルのみ).....	15
HP サマリ 画面の表示.....	16
HP Setup プログラムの使用.....	17
HP Setup プログラムでパスワードを設定する.....	19
パワーマネジメント機能の使用.....	20
システム管理機能.....	20
ソフトウェアとドライバ.....	20
2 HP PC ワークステーションへのハードウェアの 取り付け/交換方法	21
カバーとフロント ベゼルの取り外しと取り付け.....	22
プロセッサの取り付けと取り外し.....	24
メモリの取り外し、取り付け、およびアップグレード.....	27
アクセサリ カードの取り外しと取り付け.....	29
大容量記憶装置の取り付け.....	30
1 基めのハードディスク ドライブの取り外しと取り付け.....	34
2 基めのハードディスク ドライブの取り付け.....	35
フロント アクセス ベイにデバイスを取り付ける.....	36
CD-ROM ドライブ(DVD ドライブ)の交換.....	38
フロッピー ディスク ドライブの取り付け.....	39
ハードディスク ドライブ ベイとスピーカ アセンブリの交換.....	40
大容量記憶装置の取り付けを完了する.....	42
メイン シャーシ ファンの交換.....	43
電源装置の交換.....	44
システム ボードの交換.....	45
システム ボード スイッチ.....	47
バッテリーの交換.....	48

ユーザーズガイド

目次

3 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング	49
PC が起動できないとき	50
ハードウェアに問題があるとき	50
ブート前の診断テスト	52
HP e-DiagTools ハードウェア診断ユーティリティ	53
イメージ作成/リカバリ CD-ROM	55
よくある質問	58
それでも問題が解決しないときは?	59
サポートを受ける前の準備	60
索引	61

ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

当社は、当社提供以外の機器上で当社ソフトウェアを使用した場合、その使用ならびに信頼性について一切の責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を当社の書面による事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

Adobe® Acrobat Reader ©1987-1999 Adobe Systems Incorporated.
All rights reserved.

Adobe™ および Acrobat™ は、Adobe Systems Incorporated. の商標です。
Microsoft®、MS®、MS-DOS®、Windows®、および Windows NT® は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。
Pentium® は、Intel Corporation の登録商標です。
Rambus および RDRAM は、Rambus Inc. の登録商標です。
Direct Rambus、Direct RDRAM、RIMM は、Rambus Inc. の商標です。

Hewlett-Packard France
Business Desktop Division (BDD)
38053 Grenoble Cedex 9
France

©2000 Hewlett-Packard Company

ご使用上の注意

感電を防止する

警告

感電防止のため、電源装置は決して開けないでください。電源装置の内部に一般のユーザが調整できる部品はありません。

感電やレーザー光による目の損傷を避けるため、レーザー モジュールのカバーは決して取り外さないでください。レーザー モジュールの修理が必要な場合は、有資格のサービス担当者に依頼してください。レーザー ユニットの調整は決して行わないでください。電源の要件や波長については、CD-ROM ドライブに添付のラベルを参照してください。本製品は、クラス 1 レーザ製品です。

電源コード

警告

安全のため、電源コードは必ずアース付きのコンセントに接続してください。電源コードは、本製品に付属のものか、国内の規格に合ったアース プラグ付きのものを使用してください。本製品を電源から遮断するには電源コードをコンセントから抜く必要があります。本製品は、コンセントにすぐ手が届くようにコンセントの近くに設置してください。

マルチメディア モデル

警告

お使いの PC がマルチメディアモデルだったり、本 PC にオーディオカードを取り付けた場合、ヘッドフォンやスピーカを接続する際は、急激な音響を避けるため、必ずボリュームを絞ってください。また大音量を長いあいだ聞き続けると、聴覚を回復不能なまでに損なうことがあります。ヘッドフォンはまず首に掛けてボリュームを絞ってから着用し、快適なリスニング レベルになるまで少しずつボリュームを上げ、その位置で止めておくようにしてください。

カバーの取り外しと取り付け

警告

安全のため、カバーを取り外す際は、必ずコンセントから電源コードを取り外し、通信ネットワークへの接続も切り離してください。また、電源スイッチは PC にカバーを取り付けてから入れてください。

安全上の注意

警告

バッテリーは誤ってセットすると破裂する恐れがあります。安全のため、バッテリーを分解したり、穴を開けたり、火中に投げたりしないでください。バッテリーはバッテリーの製造元が推奨している種類のものと交換してください。PC に装着されているバッテリーは、重金属を含有しないリチウム電池です。ただし、環境保護のため、使用済みのバッテリーを廃棄する際は、一般のごみと一緒にしないでください。

モデムをご使用の場合

雷が発生しているときに電話コードの配線は行わないでください。水気のある場所で電話ジャックのインストールを行う場合、ネットワークインタフェースの接続を必ず切ってから行ってください。ネットワークインタフェースに接続したままの状態では芯線の露出した電話線や端子には触らないでください。電話線の設置および変更を行う際は注意を払ってください。雷が発生しているときに電話回線を使用しないでください(コードレス電話は除く)。落雷による感電の原因になります。

ガス漏れが発生しているとき、発生現場付近での電話通報は避けてください。

通信ボードに触ったり、取り外す場合は、必ず電話回線コネクタを取り外してから行ってください。

PCワークステーションの梱包を開けるとき

警告

本 PC ワークステーションを一人で持ち上げられそうにない場合は、必ず誰かに手伝ってもらってください。

静電気

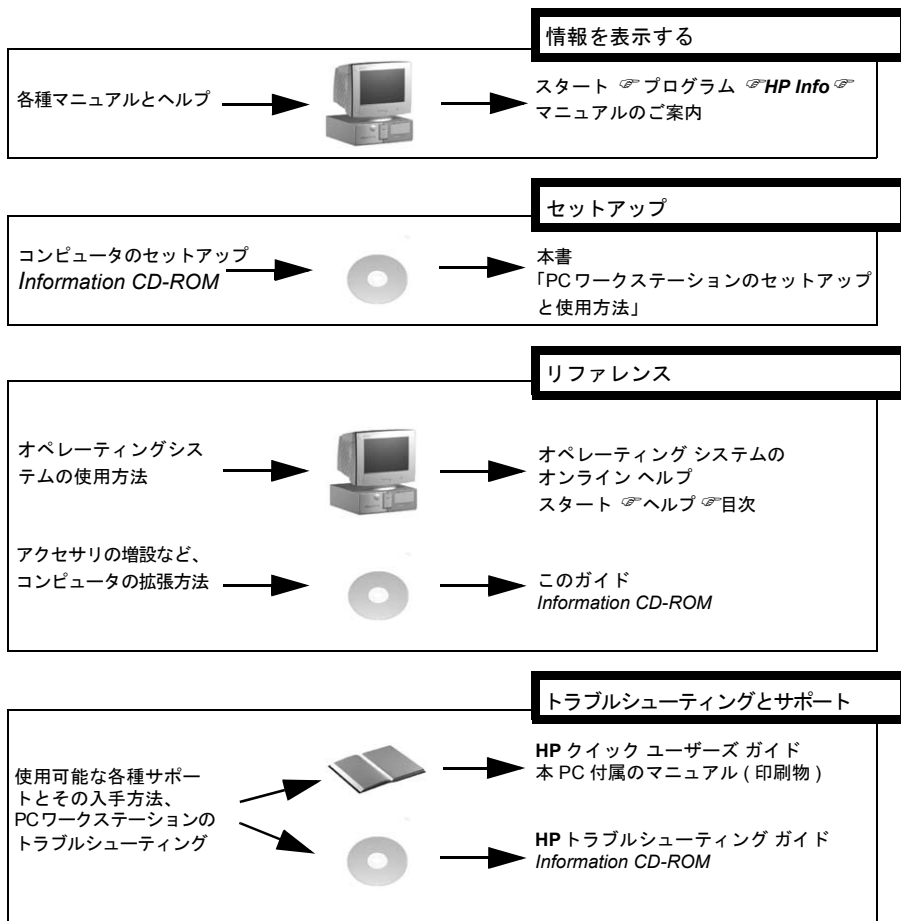
注意

静電気によって、電子部品が損傷を受けることがあります。作業中はすべての装置の電源を切り、また衣服がアクセサリに触れないようにしてください。静電気の影響を避けるため、アクセサリを包みから取り出すときは、PC ワークステーション本体の上に置いてください。また、アクセサリにはなるべく手を触れず、取り扱いに十分注意してください。

インフォメーションとヘルプ

PC ワークステーション ドキュメンテーション ロードマップ

次の情報を探すには ...



HP Web サイト

HP Web サイトでは、ダウンロード可能なマニュアル、サービスやサポートに関するご案内、最新バージョンのドライバやユーティリティなど、様々な情報が提供されています。

ダウンロードできるマニュアル

本書以外の本PCワークステーション用ドキュメントは、次のHP Web サイトから無償でダウンロードできます。これらのマニュアルは、すべて Adobe Acrobat (PDF) フォーマットで提供されます。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

ダウンロードできるマニュアルには次のものがあります。

- **トラブルシューティング ガイド**
問題発生時の解決方法が記載されています。
- **技術情報**
PCワークステーションに関する次のような詳細情報を提供します。
システム ボード スイッチ、IRQ、DMA、I/O アドレス、消費電力、音響ノイズテストの設定方法、およびネットワークの接続方法など
- **Service Handbook**
HP 部品番号など、交換部品に関する情報が記載されています(英文のみ)。

注記

これらのドキュメントを表示したり、印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader (インストール済み)が必要です。Acrobat Reader は、Adobe 社 Web サイト (www.adobe.com)、または HP Kayak Web サイト から無償でダウンロードできます。

快適に作業を行うために(人間工学的アドバイス)

本PCワークステーションには、身体への負担が少ない、快適な操作環境を実現するためのオンライン マニュアル『快適に作業を行うために』が用意されています。ご使用前にぜひお読み下さい。

操作環境に関する基本的情報は、本PCワークステーションに同梱の『クイック ユーザーズ ガイド』に記載されています。

これを表示するには、[スタート] メニューから、[プログラム]、[HP Info]、[快適に作業を行うために]の順にクリックするか、または HP Web サイト www.hp.com/ergo にアクセスしてください。

技術情報

物理的特徴 (出荷時の標準構成)

特徴:	説明:
重量(キーボードとディスプレイを除く)	10 Kg
寸法	奥行き 最大45.7 cm、幅42 cm、高さ 16.2 cm
設置面積	0.19 m ²
保管温度	-40℃ ～ 70℃
保管湿度	8% ～ 85% (相対湿度)
動作温度	10℃ ～ 35℃
動作湿度	15% ～ 85% (相対湿度)
音響ノイズエミッション(ISO 7779に従って測定): • 動作時(代表値)	音響出力 LWA< 40 dBA 音響データについて詳しくは、次のHP Web サイトにある HP PC ワークステーション のデータシートをご覧ください。 http://www.hp.com/desktops/kayak
電源	<ul style="list-style-type: none">• 入力電圧 100 ～ 127, 200 ～ 240 V (選択スイッチあり)• 入力周波数 50/60 Hz• 最大出力: 230W (連続)• PCIアクセサリ スロット1基につき 25 W、供給電圧 5 V または 3.3 V をサポートしています。PCI 2.2規格の電力仕様に準拠する必要があります。電力消費量の合計は65 W 以下とします。• AGP スロットの許容電力消費量は 25 W 以下とします。

注記

フロント パネルの電源スイッチ で電源をオフにすると、電力消費は 5 W 以下になりますが、ゼロにはなりません。本PCが採用するこの特殊なオン/オフ方式は電源装置の寿命を大幅に延ばします。電源オフ時の電力消費をゼロにするには、PC の電源コードをコンセントから抜くか、スイッチ付きの電源ブロックを使用してください。

PC ワークステーションのセットアップと使用方法

警告

PC ワークステーションやモニタを一人で持ち上げられそうにない場合は、必ず誰かに手伝ってもらってください。

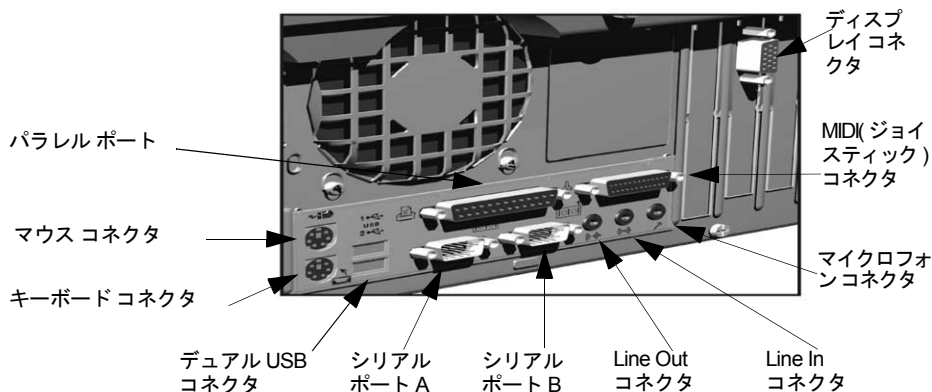
- 1 本製品をお受け取りになったら、内容物を確認してください。
- 2 電源コンセントに近く、またキーボード、マウス、その他の付属品のスペースが十分にある丈夫なデスク上にPCワークステーションを置きます。
- 3 背面コネクタに手が届くように、PCワークステーションの位置を調節します。

取り付け用工具

PCワークステーションのセットアップに、特別な工具は必要ありません。ただしPCワークステーション内にディスクドライブやアクセサリボードを取り付ける場合は、マイナスのドライバが必要です。アクセサリの取り付けについては、21ページ「HP PCワークステーションへのハードウェアの取り付け/交換方法」を参照してください。

デバイスの接続

本機を安全にお使いいただくために、本ガイドの6ページと7ページに記載された注意事項をよくお読みください。



注記

ユニバーサルシリアルバス (USB): このコネクタは、USB アクセサリに使用できます (HP アクセサリの詳細については、HP Web サイト www.hp.com/go/pcaccessories をご覧ください)。ほとんどの USB アクセサリは、PC ワークステーションに物理的に接続すると同時に自動的にセットアップされます。一部のオペレーティングシステムは USB をサポートしていません。

Line Out ジャック: Line Out ジャックを使用すると、内蔵のオーディオスピーカーから音声は出力されません。外部スピーカーは電源内蔵のものをお使い下さい。

PC ワークステーションの起動と終了

PC ワークステーションを初めて起動する場合

ソフトウェアがプリインストールされているモデルでは、最初の起動時にこれらのソフトウェアの初期化が実行されます。ソフトウェアの初期化には数分かかり、使用する言語とハードウェアに合わせてソフトウェアが設定されます(この設定は、初期化の終了後に変更できます)。

PC ワークステーションの起動

- 1 PC ワークステーションを起動する前に、ディスプレイの電源を入れておきます。
- 2 次のいずれかの方法でPC ワークステーションを起動します。
 - フロント パネルの電源ボタンを押します。
 - キーボードのスペースバーを押します (マルチメディア キーボードモデルのみ)。
キーボード パワーオン機能は、対応するシステムボードスイッチが正しく設定されているときに有効になります (デフォルトでは有効に設定されています)。

PC ワークステーションの電源を入れるとPC ワークステーションのロゴが表示され、その間にパワーオンセルフテスト (POST) が実行されます。POST の詳細を見るには、[Esc] キーを押します。POST でエラーが検出された場合は、自動的にエラー メッセージが表示されます。

- 3 PC ワークステーションの Setup プログラムでパスワードを設定した場合は、POST が終了するとパスワード プロンプトが表示されます。ここでパスワードを入力して、[Enter] キーを押すとPC ワークステーションが使用可能になります。

ソフトウェアの初期化

注記

ソフトウェアの初期化中は電源を切らないでください。初期化中に電源を切ると障害が発生する可能性があります。

ソフトウェアの初期化は以下の手順で行います。

- 1 はじめにディスプレイの電源を入れ、次にPCワークステーションの電源を入れます。

PC ワークステーションの電源を入れると、HP PC ワークステーションのロゴが表示され、パワーオンセルフ テスト (POST) が実行されます。
- 2 ソフトウェア初期化プロセスが開始します。ソフトウェアライセンス契約と「快適に作業を行うために」というコンピュータ ユーザのための人間工学に基づいたアドバイスが表示されます。その後、PCワークステーションに関していくつかの項目を入力する画面が表示されます。
- 3 初期化プロセスの実行中に、本製品に添付されているPCユーザ登録書に記入します。
- 4 初期化プロセスが終了したら、[OK]をクリックします。PCワークステーションが再起動します。

緊急リペア ディスクの作成

ソフトウェアの初期化中に、オペレーティング システムの緊急リペア ディスクを作成しておくことが非常に重要です。リペア ディスクを作成する場合は、新しいフロッピーディスクを使用するようにしてください。

緊急リペア ディスクの作成方法については、ご使用のアプリケーションソフトウェアかオペレーティング システムに付属のマニュアルを参照してください。

PCワークステーションの終了

PCワークステーションを終了する場合は、まず、すべてのプログラムを終了したことを確認し、[スタート]メニューのシャットダウン コマンドを使用してオペレーティング システムをシャットダウンします。切断の指示が出たら、コントロールパネルにある電源ボタンを押します。

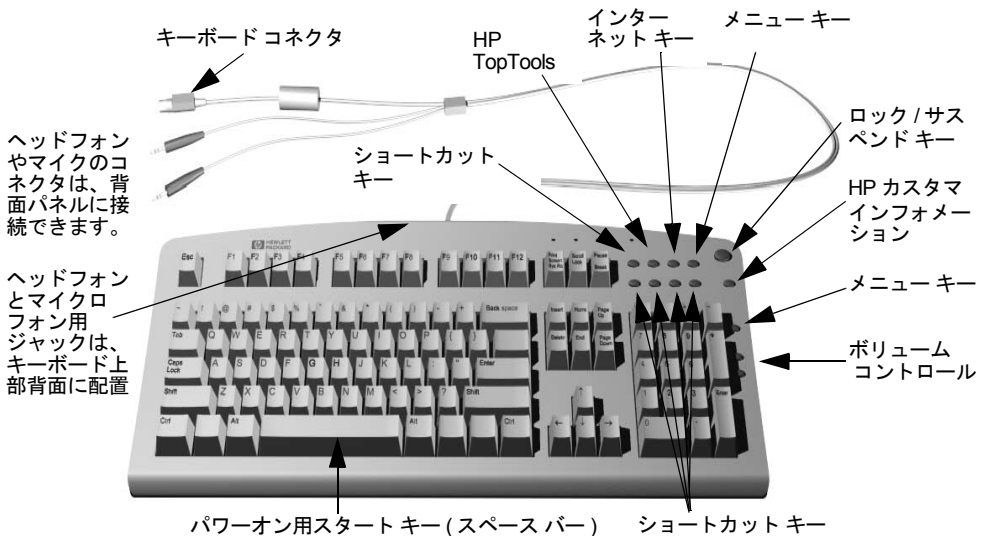
注意

切断の指示が表示されるまで電源ボタンを押さないでください。ここで電源ボタンを押してしまうと、作業中のアプリケーションの未保存のデータが失われる可能性があります。

HP 拡張マルチメディア キーボードを使う (一部のモデルのみ)

HP 拡張マルチメディア キーボードに付属のソフト キーを使用すると、以下の操作が可能になります。

- キーに割り当てたアクションを表示、設定する
- アプリケーションの起動、ファイルのオープン、またはインターネットの Web サイトのオープンなどをワンタッチで行える
- システム付属のインターネット ブラウザを起動する
- PCワークステーションをロックまたはサスペンドにする
- HP TopTools とカスタマ情報へアクセスする
- オーディオシステムのボリュームをミュートまたは調節する
- ヘッドフォンやマイクは、PC ではなく直接キーボードに接続できます。ただし、ヘッドフォンやマイクのコネクタはキーボード背面の専用のジャックに差し込む必要があります。



メニューキー

"?" メニュー ソフトキーを押すと、HP 拡張キーボード コントロール パネルのソフトキー部分が画面に表示されます。画面上の任意のキーをクリックすると、個々のキーに割り当てられているアクションが表示され、新たにキーにアクションを割り当てたり、割り当てられているアクションを変更することができます。ユーザ定義のアクションには、ショートカットキーをお使いください。

HPサマリ画面の表示

HPサマリ画面は、現在の構成情報の概要をまとめて表示します (例:BIOSバージョン、CPU速度、メモリ モジュールのサイズ、大容量記憶装置など)。

アクセサリの取り付け、取り外し、アップグレードなどを行った後は、そのたびに次の手順にしたがって、PCワークステーションの設定をチェックすることをお勧めします。

- 1 ディスプレイの電源を入れ、次にPCワークステーションの電源を入れます。PCワークステーションの電源がすでに入っている場合は、データを保存し、プログラムをすべて終了して、PCワークステーションを再起動します。PCワークステーションの電源オン/オフ、再起動に際して特に注意することがないか、ご使用のオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- 2 スタートアップ ログがディスプレイに表示されている間に、**[Esc]** キーを押すと、HPサマリ画面が表示されます (サマリ画面をスキップして直接**Setup**プログラムに進む場合は、**[Esc]** キーではなく **[F2]** キーを押してください)。サマリ画面は表示後数秒で消えます。

HP Setup プログラムの使用

Setupプログラムを使用して、PCワークステーションを設定したり(システムやユーザ パスワードの設定、大容量記憶装置の取り付けとアップグレードなど)、設定上の問題を解決することができます。

システム セットアップの変更を行った場合、その内容をメモしておくことをお勧めします。

HP Setup プログラムの起動

- 1 ディスプレイの電源を入れ、次にPCワークステーションの電源を入れます。PCワークステーションの電源がすでに入っている場合は、データを保存し、プログラムをすべて終了して、PCワークステーションを再起動します。
- 2 画面の下に **(F2) Setup** が表示されている間に、**(F2)** キーを押します。**(F2)** キーを押し遅れ、起動プロセスが進行していったら、PCワークステーションを再起動し、もう一度POST(パワーオンセルフテスト)を実行している時に、**(F2)** キーを押してください。

PCワークステーションのSetupプログラムが起動し、初期画面が表示されます。メインメニューには、インストールされているBIOSのバージョン、日付と時間などのフィールドが一覧表示されます。

画面上部のメニューバーには、様々なメニューが表示されます。メニューは、右または左矢印キーで選択します。

Main メニュー

MainメニューにはインストールされているBIOSのバージョンが表示されるほか、"PnP"(デバイス設定をBIOSか、またはWindows 95などのプラグ&プレイ対応オペレーティング システムのどちらで行うかを選択)、"Reset Configuration Data"、"System Time"、"System Date"、"Key Click"、"Key Auto-Repeat Speed"、"NumLock at Power-on" などの設定項目があります。デフォルトでは、"Reset Configuration Data" 項目は [No] に設定されています。[Yes] を選択すると、システム設定値はクリアされ、初期値に戻ります。

Advanced メニュー

Advancedメニューでは、サブメニューを使って以下の設定が行えます。

- メモリ キャッシュ、USB ポート、内蔵のI/Oポート、内蔵オーディオデバイスを設定する
- フロッピーディスク ドライブ、IDEデバイス(プライマリとセカンダリ)を有効にする
- PCIデバイス

Security メニュー

サブメニューを使って、システム管理者パスワード、ユーザパスワード、パワーオンパスワードの文字列や値、および固定ディスク ブート セクタを変更したり、許可なくフロッピー、CD-ROM、IDE-HDD ドライブなどから起動できないように設定することができます(19ページの「HP Setup プログラムでパスワードを設定する」を参照してください)。

Boot メニュー

BIOS がオペレーティング システムをブートする際のブート デバイスの優先順位を選択します。QuickBoot モードのオプション設定で、ブート中に行うテストの一部を省略することにより、ブートに要する時間を短縮できます。

Power メニュー

Modem Ring オプション設定では、IRQ の生成時にシステムがフルスピードに戻る機能を有効または無効に設定できます。また、Network Interface オプションを使って、ネットワーク インタフェースが特定のコマンドを受信したときに通常のスピードに戻るように設定することもできます。

Standby Delay (プロセッサ速度を遅くする) と Suspend Delay (電力を最大限節約) オプションは、Windows 95 SR2.1 オペレーティング システムでのみ有効です。これらのオプションでは、選択したモードに移行するまでのシステムのアイドル時間を設定できます。

注記

Setup プログラムは、電源投入時の初期化パラメータを変更することにより、システムの動作を変化させます。間違った値を設定してしまうと、ブート障害が発生する原因となります。万一、ブート障害が発生した場合にシステムを元の状態に戻すには、**[F9]** を押して、Setup の初期値をロードします。

HP Setup プログラムでパスワードを設定する

パスワードには、保護レベルによって、管理者パスワード、ユーザ パスワード、パワーオン パスワードの3種類があります。どのパスワードも Setup プログラムの **Security** メニューで設定します。

管理者パスワードを使用すると、Setup プログラムのすべての設定にアクセスしたり、変更を加えることができます。一方、ユーザ パスワードでは、表示または変更を加えられるのは、Main メニューの一部の項目に限られます。

パワーオン パスワードを有効に設定した場合、PC をブートするたびに毎回パスワードの入力が必要になります。これには管理者またはユーザ パスワードのどちらかを使用できます。

パスワードの設定

パスワードの設定は以下の手順で行います。

- 1 Setup プログラムを起動します。
- 2 **Security** メニューを選択します。
- 3 **Administrator** または **User** パスワード サブメニューを選択します。
- 4 設定項目の **Set Administrator** または **User Password** を選択します。この設定では、パスワードを2度入力するように指示されます。
パワーオン パスワードを有効にするには、**Enabled** を選択します。
- 5 変更を保存して、Setup プログラムを終了するには、**[Esc]** を押すか、**Exit Menu, Exit Saving Changes** の順に選択します。

パスワードのクリアは、パスワード設定と同じ手順で行います。最初に現在のパスワードを入力するように指示されます。次に新しいパスワードを入力するように指示されますが、パスワード フィールドには何も入力せずに **[Enter]** キーを押します。選択を確認するために、**[Enter]** キーをもう一度押して設定を終了します。

パワーマネジメント機能の使用

パワー マネジメント機能は、PCワークステーションを使用していないときに、その動作を遅くすることによって全体的な電力消費を低減します。電力消費について詳しくは、次のHP Webサイトにある HP PC ワークステーションのデータシートをご覧ください。

<http://www.hp.com/desktops/kayak>

オペレーティングシステム

ご使用のオペレーティングシステムによってはサポートするパワー マネジメント機能が異なります。詳細についてはオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

システム管理機能

本PCワークステーションは、高度なシステム管理機能に対応しています。TopToolsは、トラブルの解決やリモート管理を容易にする、非常に便利なデバイス管理ツールです。TopToolsについて詳しくは、次のHP Webサイトをご覧ください。

<http://www.hp.com/toptools>

ソフトウェアとドライバ

最新のドライバとBIOSは、HPサポートサイトの"Software and Drivers"セクションからダウンロードできます。ご利用になるには、次のHP Webサイトにアクセスしてください。

http://www.jpn.hp.com/CPO_TC/eschome.htm (日本語)

<http://www.hp.com/go/kayaksupport> (英語)

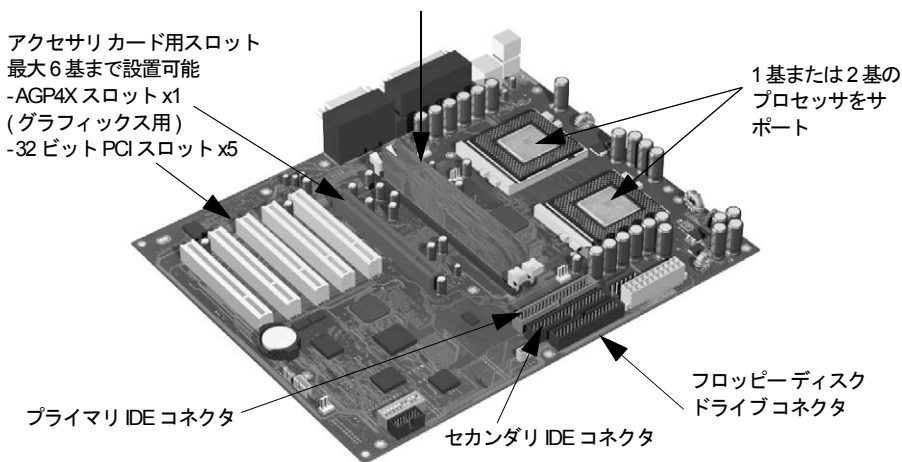
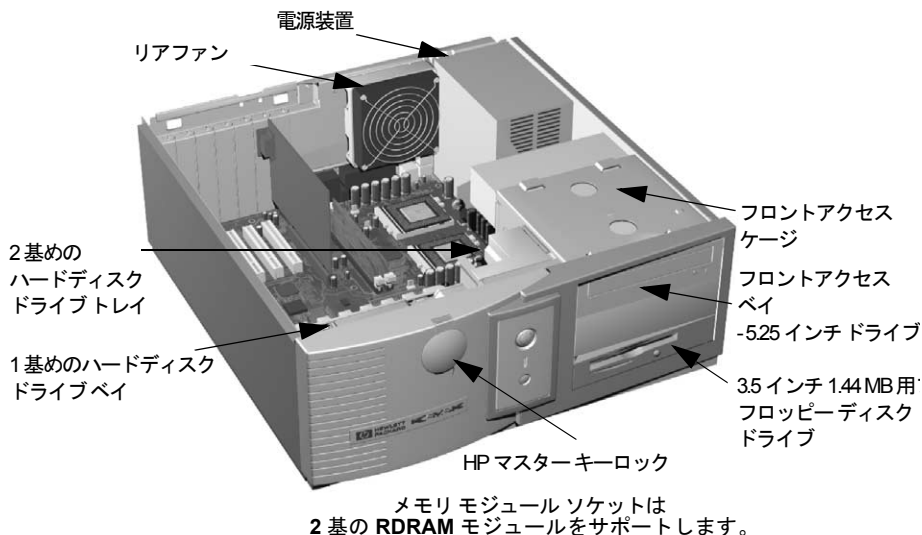
また、ご登録いただくと、ドライバに関する最新情報を自動的に入手できるようになります。

本PCでサポートするデバイスに関する最新リストについては、最寄りの代理店にお問い合わせいただくか、次のHP Webサイトをご覧ください。

<http://www.hp.com/go/kayak>

HP PCワークステーションへのハードウェアの取り付け/交換方法

本章ではPCワークステーションへのアクセサリの取り付け方法およびハードウェアの交換方法を説明します。



サポートされるデバイスの最新リストについては、販売代理店にお問い合わせいただくか、次のHP Webサイトをご参照ください。

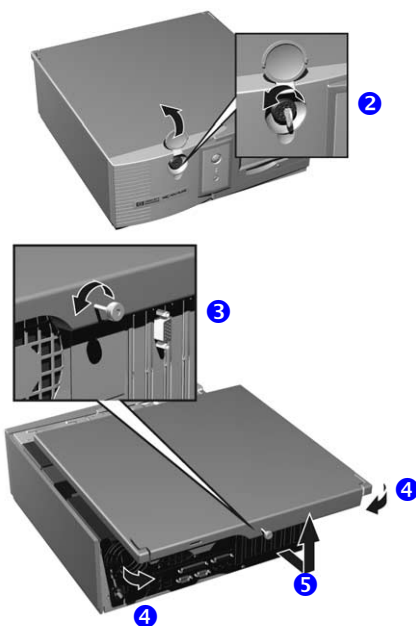
<http://www.hp.com/go/kayak>

カバーとフロント ベゼルの取り外しと取り付け

カバーの取り外し

作業に入る前に、6 ページと 7 ページの「ご使用上の注意」をお読みください。

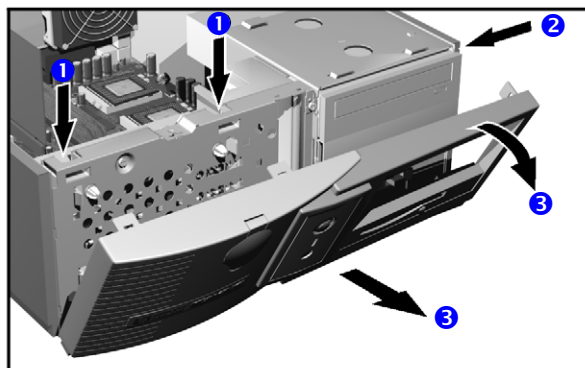
- 1 モニタとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 必要に応じて、フロントパネルに添付されたキーを使用してカバーのロックを解除します。
- 3 PC 背面の蝶ねじを取り外します。
- 4 PC 側面の 2 つのラッチを押します。
- 5 カバーを PC 背面方向に止まるまでスライドさせ、持ち上げて取り外します。



フロントベゼルの取り外し

必要に応じて、フロント ベゼルを取り外します。フロント ベゼルを取り外すには、次の手順に従ってください。

- 1 灰色の固定用クリップ (2個) を押します。
- 2 続いて青いクリップを内側へ押します。
- 3 ベゼルの前方へ傾けて取り外します。



カバーとフロントベゼルの取り付け

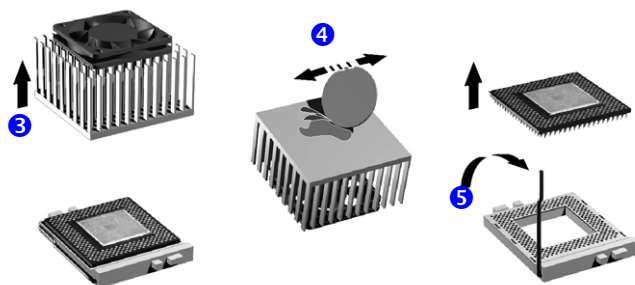
- 1 本体内部のケーブル類がすべて正しく接続され、安全な位置にあるか確認します。
- 2 必要に応じて、フロント ベゼルを取り付けます。ベゼル底部のガイドピン (3つ) とシャーシの前面のスロットを合わせます。ベゼルが定位置に納まるまでゆっくり押します。
- 3 カバー内縁のレールと PC シャーシの端をしっかりと合わせてカバーを本体にかぶせ、カチッと音がして止まるまで前方にスライドさせます。
- 4 PC 背面の蝶ネジを締めます。
- 5 必要に応じて、付属のキーを使用してカバーをロックします。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。

プロセッサの取り付けと取り外し

空いているプロセッサ スロットに2基めのプロセッサを取り付けることにより、シングルプロセッサ システムをデュアルプロセッサ システムにアップグレードできます。2基めのプロセッサは1基めのプロセッサと同タイプ、同じ動作周波数で、2次キャッシュの容量も同じでなければいけません。

1基めのプロセッサの取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します(手順は22ページを参照)。
- 3 ヒートシンクファンがついている場合、その電源コネクタをシステムボードから取り外し、続いて、ヒートシンクを取り外します。プロセッサを所定の位置に固定しているスプリング式固定クリップを外す(上に引き上げる)には、工具が必要な場合があります。



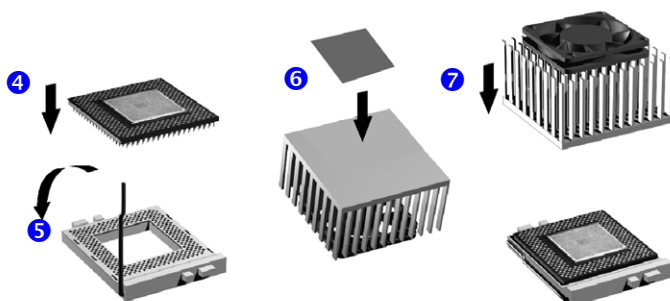
- 4 ヒートシンク下面(図では上面)に貼られている熱伝導用接着材を取り除きます。取り外した接着材の跡が残っていた場合は、硬貨などできれいにこすり落とします。
- 5 プロセッサ ソケットの側面にあるZIF(Zero Insertion Force)レバーをプロセッサに対して直角になるまで持ち上げ、ソケット ベースからプロセッサピンを外します。プロセッサをゆっくりと持ち上げます。プロセッサ ピンが曲がらないように、プロセッサ本体をメイン ボードに対してできるだけ水平に持って取り外します。
- 6 取り外したプロセッサは、帯電防止袋(交換用プロセッサが入っていた袋など)に入れて保管しておきます。

プロセッサの取り付け

プロセッサを交換する場合は、手順4から始めてください。

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します(手順は22ページを参照)。

- 3 システム ボード上でCPU2と印字された2基めのプロセッサ用のソケットを確認します。ZIF レバーを持ち上げ、CPU 2 ソケットからプロセッサターミネータを取り外します。ターミネータは大切に保管しておいてください。
- 4 ZIF(Zero Insertion Force) レバーをメイン ボードに対して垂直に引き上げ、新しいプロセッサをゆっくりと挿入します。プロセッサの向きが正しいことを確認します。プロセッサは一方方向にしか差し込めない形になっています。プロセッサの装着に力は要らず、ピンが破損していなければ、簡単に装着できます。



- 5 プロセッサを完全に差し込んだら、ZIF レバーをメイン ボードと水平になるまで押し下げ、ソケットベースの脇に留めます。これにより、プロセッサ ピンが所定の位置にしっかりと締め付けられます。下段のCD-ROM ドライブ シェルフにデバイスを取り付けている場合は、新しく装着したプロセッサにデバイスが接触していないことを確認します。
- 6 ヒートシンクの下面に新しい熱伝導材(新しいプロセッサに付属のステッカーまたはシリコングリスなど)を貼り付けます。
- 7 ヒートシンクとプロセッサの表面が密着するように、スプリング式の固定クリップでヒートシンクをプロセッサに取り付けます。ファン付きのヒートシンクの場合、システム ボード上の対応するコネクタにファンケーブルを取り付けます。コネクタには、1 基め、2 基めのプロセッサ用にそれぞれCPU_FAN1、CPU_FAN2と印字されています。
- 8 PC 本体のカバーを取り付けます(23 ページを参照)。すべての電源および通信用ケーブルを接続します。PC ワークステーションを起動したときに、プロセッサが正しく認識されていることを確認します(16 ページの「HP サマリ画面の表示」を参照)。

デュアル プロセッサ 構成を最大限利用するには、オペレーティングシステムの設定を行う必要があります(26 ページの「オペレーティングシステムをデュアル プロセッサ構成用に設定する」を参照)。

オペレーティング システムをデュアル プロセッサ構成用に設定する

Windows 2000 の設定

デュアル プロセッサ構成の利点を最大限に活かすには、Windows 2000 を次のように設定する必要があります。

- 1 [スタート]、[設定]、[コントロール パネル]の順にクリックします。
- 2 コントロール パネルで、[管理ツール] をダブルクリックします。
- 3 [管理ツール] ウィンドウで、[コンピュータの管理] をダブルクリックします。
- 4 [コンピュータの管理] ウィンドウの左部分の [システム ツール] で、[デバイス マネージャ] をクリックします。
- 5 デバイス マネージャ ウィンドウの右部分で [コンピュータ]、[ACPI PC] の順にダブルクリックします。
- 6 続いて表示される [プロパティ] ウィンドウで、[ドライバ] タブ、[ドライバの更新] ボタンの順にクリックします。
- 7 [次へ] をクリックすると、デバイス ドライバのアップグレード ウィザードが始まります。次の画面で [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する] を選択し、[次へ] をクリックして次に進みます。
- 8 次の画面で、[このデバイス クラスのハードウェアをすべて表示] を選択し、[製造元] 項目で [標準コンピュータ] を、[モデル] 項目で [ACPI マルチプロセッサPC] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
- 9 [次へ] をクリックして、ドライバのインストールを行い、終了したら [終了] をクリックします。開いているウィンドウをすべて閉じ、画面の指示に従って PC を再起動します。再起動後、Windows 2000 上で新しいデュアル プロセッサ構成をフルに活用できるようになります。

HP DualExpress! を使用して Windows NT 4.0 を設定する

HP 製プロセッサには、HP DualExpress! アプリケーションが付属しています。これは、Windows NT4 上でシングル プロセッサからデュアル プロセッサシステムへとアップグレードするためのものです。

注記

HP DualExpress! は、Windows 2000 でのシングル プロセッサからマルチプロセッサへのアップグレードには対応していません。

HP DualExpress! の起動

HP DualExpress! のインストール ウィザードに従って、オペレーティング システムのアップグレードを行ってください。この作業は5分以内で完了します。

2 基めのプロセッサの取り付けを完了し、PC を起動します。この時点では、Windows NT はまだ 1 基めのプロセッサしか認識していません。HP DualExpress! のフロッピー ディスクをフロッピー ディスク ドライブに挿入し、手順に従ってアップグレードを行います。アップグレードが完了すると、システムが再起動します。再起動後、マルチ プロセッサ システムが認識されます。

メモリの取り外し、取り付け、およびアップグレード

注記

メモリは、お手持ちのPCモデルに適したHP製メモリのみをご使用ください。アクセサリに関する詳細情報は、次のHPアクセサリWebサイトをご覧ください。

<http://www.hp.com/go/pcaccessories>

メモリのアップグレード

HP Kayak XM600 PC ワークステーションは最大2枚のRAMBUS Direct RAM (RDRAM) メモリ モジュールをサポートします。

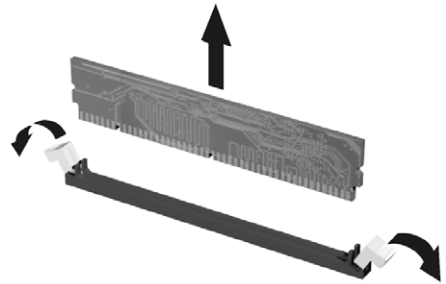
メモリ モジュールを1枚だけ取り付ける場合は、プロセッサに最も近いソケットに装着します。使用しないメモリ ソケットにはコンティニュティ モジュールを取り付けておきます。

メモリ モジュールの取り外しと取り付け

メモリ モジュールの取り外しと取り付け

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します (手順は22ページを参照)。
PC本体を横に寝かせて、システムボードが上を向いた状態で作業します。

- 3 メモリ モジュールを増設する場合は、コンティニュティ モジュールを取り外します。両脇の固定クリップを開きモジュールをソケットから取り外します。
既存のメモリ モジュールを交換する場合は、同じように両脇のクリップを開き、既存のメモリ モジュールをソケットから取り外します。

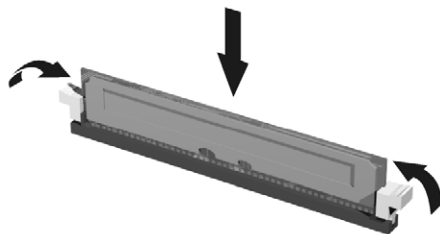


取り外したメモリやコンティニュティ モジュールは、大切に保管しておいてください。

2 HP PC ワークステーションへのハードウェアの取り付け / 交換方法

メモリの取り外し、取り付け、およびアップグレード

- 4 メモリ モジュールを取り付けるには、メモリ モジュールとソケットの2つの切り欠きを合わせます。固定用クリップを開いた状態でメモリ モジュールを**完全に**ソケットに押し入れます。カチッという音がして、固定用クリップが定位置に戻ります。



- 5 PCのカバーを取り付けます(23ページを参照)。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。
- 6 HPサマリ画面で新しい設定が確定されていることを確認します(16ページの「HPサマリ画面の表示」を参照)。

アクセサリ カードの取り外しと取り付け

HP Kayak XM600 モデルは、システムボード上に32ビット、33 MHzのPCI アクセサリ カード スロットが5つとAGPスロットが1つあります。AGP スロットには、標準の25W AGP ビデオ カードを装着できます。

注記

AGP PRO ビデオ カードはデスクトップ モデルでは使用できません。システム ボードはこのカードを装着できないようにハードウェア的に処理されています。

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します（手順は22ページを参照）。
- 3 アクセサリ カードを新しく取り付ける場合は、スロット パネルのネジを外して、スロット パネルを取り外します。取り外したパネルは大切に保管してください。スロット カバーが取り外しにくい場合は、隣接するスロットのネジをゆるめてください。
アクセサリ カードを交換する場合は、アクセサリ カードに接続されているケーブルを取り外し、カードのネジを外して、ゆっくりとカードを取り出します。

注記

カードによっては、装着先のスロットが指定されているものがあります。取り付け手順の詳細は、各カードのマニュアルを参照してください。

- 4 カードのコネクタとスロットのソケットを合わせ、正しい位置にスライドさせます。カードをソケットにしっかりと押し込み、固定用ネジを締めます。
- 5 その他の必要なアクセサリをすべて取り付けたことを確認したら、カバーを取り付けます（23ページを参照）。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。

大容量記憶装置の取り付け

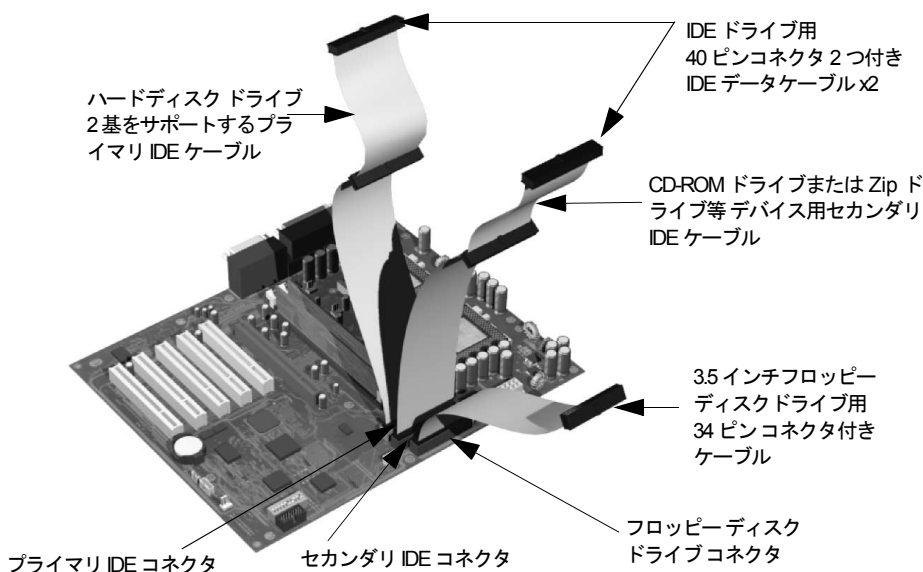
本PCには、最高4基までのIDEデバイスをサポートする内蔵Ultra ATA-66コントローラが内蔵されています。CD-ROMドライブ、DVDドライブ、テープドライブ、Zipドライブ等のリムーバブルメディアIDEデバイスは、PC前面から取り付ける必要があります。本PCは、フロッピーディスクドライブの他に、3.5インチ内蔵デバイス1基とフロントアクセス用5.25インチデバイス2基をサポートします。フロントアクセスシェルフの1つは、既にCD-ROMドライブが取り付けられている可能性があります。

デスクトップシャーシには最大2基の10K RPMハードディスクドライブを(物理的に)取り付け可能です。

ドライブのマニュアルを参照し、ジャンパの設定が必要か、特殊な取り付け手順がないか確認してください。

ケーブルとコネクタ (すべてのモデル)

IDE Zipドライブ、ハードディスクドライブ、DVDドライブ、CD-ROMドライブ、CD-RWドライブ、またはテープドライブなどを追加する場合は、電源ケーブルやデータケーブルの接続を行う必要があります。下図では、本PCのデータケーブルとコネクタの種類と用途について説明します。



使用するIDE データコネクタ

本PC内部には、データ ケーブルが3本使用されています。このうち2本はIDEデバイス用です。

- ATA IDE ケーブルは、2基のIDEデバイスをサポートします。このケーブルは、システム ボードのプライマリ IDEコネクタに接続されています。起動用ハードディスク ドライブは、マスタ コネクタを介してこのケーブルに接続されます。2基めのハードディスク ドライブは、スレーブ コネクタを使用します。
- 2本目のIDE ドライブ ケーブルは、2基のIDEデバイスをサポートします。CD-ROM ドライブ、DVD ドライブ、Zip ドライブを取り付ける場合は、このケーブルに接続します。
- 3本目のケーブルには、フロッピー ドライブ用のコネクタが1つ付いています。

次の表に、デバイスを増設する際に使用するデータ コネクタを示します。

複数のIDE ドライブの組み合わせ例		
デバイス	データケーブルとの接続	
ハードディスクドライブx1	1.起動用ハードディスクドライブ	マスタ コネクタ、プライマリIDE ケーブル
ハードディスクドライブx2	1.起動用ハードディスクドライブ 2.2基目のハードディスクドライブ	マスタ コネクタ、プライマリIDE ケーブル スレーブコネクタ、プライマリIDE ケーブル
ハードディスクドライブx1 CD-ROMドライブx1	1.起動用ハードディスクドライブ 2.CD-ROMドライブ	マスタ コネクタ、プライマリIDE ケーブル マスタ コネクタ、セカンダリIDE ケーブル
ハードディスクドライブx2 CD-ROMドライブx1	1.起動用ハードディスクドライブ 2.2基目のハードディスクドライブ 3.CD-ROMドライブ	マスタ コネクタ、プライマリIDE ケーブル スレーブコネクタ、プライマリIDE ケーブル マスタ コネクタ、セカンダリIDE ケーブル
ハードディスクドライブx1 CD-ROMドライブx1 Zipドライブx1	1.起動用ハードディスクドライブ 2.CD-ROMドライブ 3.Zipドライブ	マスタ コネクタ、プライマリIDE ケーブル マスタ コネクタ、セカンダリIDE ケーブル スレーブコネクタ、セカンダリIDE ケーブル
ハードディスクドライブx2 CD-ROMドライブx1 Zipドライブx1	1.起動用ハードディスクドライブ 2.2基目のハードディスクドライブ 3.CD-ROMドライブ 4.Zipドライブ	マスタ コネクタ、プライマリIDE ケーブル スレーブコネクタ、プライマリIDE ケーブル マスタ コネクタ、セカンダリIDE ケーブル スレーブコネクタ、セカンダリIDE ケーブル

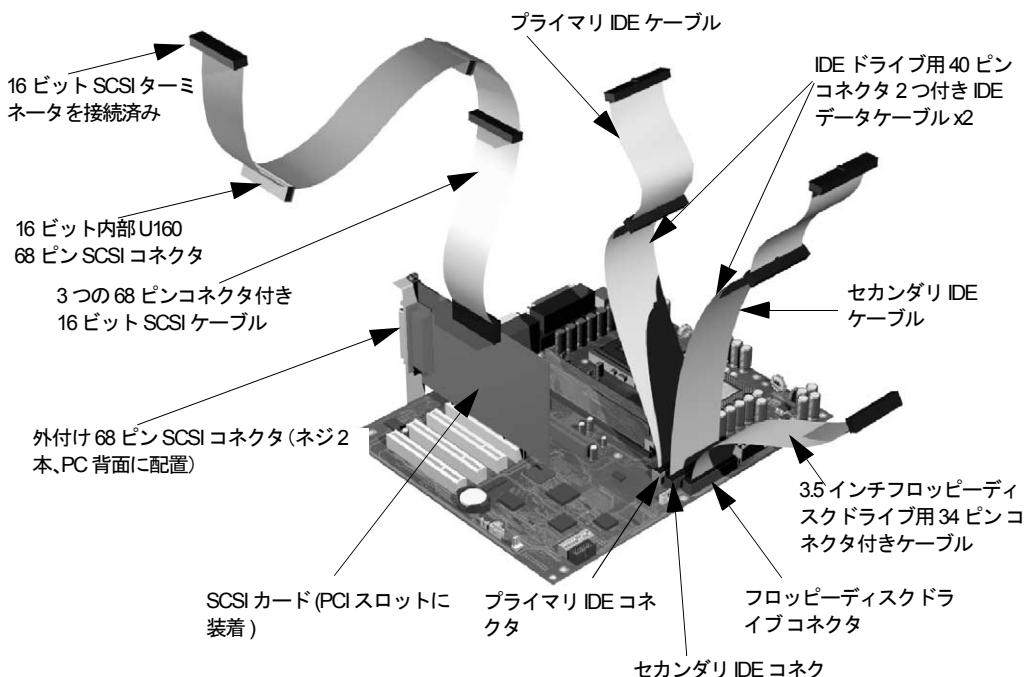
IDEハードディスクを取り付ける前に

ドライブのインストール ガイドを参照し、ジャンパの設定が必要か、特殊な取り付け手順がないか確認してください。

2 HP PC ワークステーションへのハードウェアの取り付け / 交換方法

大容量記憶装置の取り付け

ケーブルとコネクタ (SCSIモデル)



使用する SCSI コネクタ

SCSI カード搭載モデルは、最大 3 基の内蔵 SCSI デバイスを接続できます。内部 SCSI コネクタをすべて使用している場合は、リアパネルの SCSI コネクタに外付けデバイスを直接接続できます。外付け用 SCSI コネクタは、最大 10 基までの外付けデバイスをサポートします。内蔵と外付け合計で、最大 13 基までデバイスを接続できます。

注記

外部 SCSI ケーブルの全長は、3m 以下でなければなりません。

SCSI ハードディスクを取り付ける前に（一部のモデルのみ）

SCSI ドライブを増設する場合は、**新しいドライブに未使用の SCSI ID を割り当てる必要があります**。SCSI ID は、Ultrawide 16 ビット SCSI の場合、0～15 の範囲の番号です。SCSI ID 0 は 1 台目の SCSI ハードディスク ドライブが使用し、SCSI ID 7 は内蔵の SCSI コントローラ用に予約されています（Narrow/Wide SCSI デバイスに対するデフォルト設定）。

増設した SCSI ハードディスク ドライブには、未使用の SCSI ID を割り当てなければなりません（例えば、SCSI ID 1）。

SCSI ID は、通常は SCSI ハードディスク ドライブ上のジャンパで設定します。SCSI ID を選択する方法については、ドライブに付属しているマニュアルを参照してください。

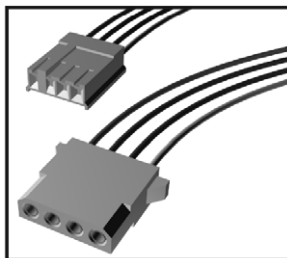
2 HP PC ワークステーションへのハードウェアの取り付け / 交換方法

大容量記憶装置の取り付け

SCSI ディスク ドライブによっては、コンピュータに取り付ける前にターミネータを取り外すか、無効にしなければならないものがあります。ドライブに固有の取り付け手順などの詳細については、ドライブに付属のインストール ガイドを参照してください。

電源コネクタ

3.5 インチ フロッピー ディスク ドライブ用電源ケーブル



ハードディスク ドライブ、Zip ドライブ、テープ ドライブ、CD-RW/CD-ROM ドライブ、DVD ドライブ用電源ケーブル

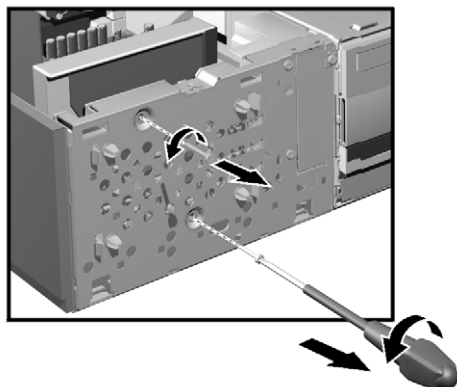
1 基めのハードディスク ドライブの取り外しと取り付け

注意

ハードディスク ドライブの取り扱いには十分に注意してください。衝撃を与えたり乱暴に動かしたりしないでください。ハードディスク ドライブの内部コンポーネントに損傷を与える可能性があります。ハードディスク ドライブを取り付ける前に、必ずファイルをバックアップしてください。バックアップの手順については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

既存のドライブの取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーとフロント ゼベルを取り外します (22 ページを参照)。
- 3 PC 前面のシャーシから固定用ネジ2本を外します。ハードディスクドライブベイから1基めのハードディスクドライブを引き出します。
- 4 ハードディスク ドライブから電源ケーブルとデータケーブルを取り外します。



注意

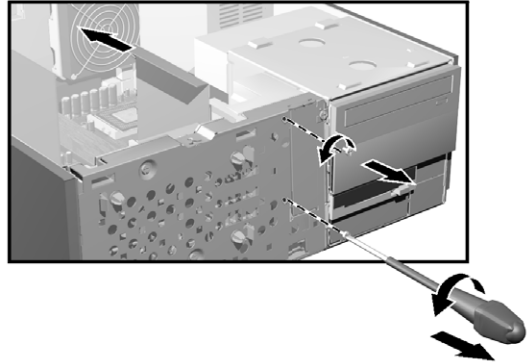
取り付け中のハードディスク ドライブの取り扱いには十分に注意してください。ちょっとした衝撃が損傷の原因になります。

新しいドライブの取り付け

- 1 ハードディスク ドライブに電源ケーブルとデータ ケーブルを接続します。
- 2 正しい方向を向いていることを確認して、新しいドライブをハードディスク ドライブ ベイにスライドさせて固定用ネジ2本を締めます。
- 3 PCのカバーとフロント ベゼルを取り付けます (23 ページを参照)。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。
- 4 42 ページを参照して、取り付けを完了します。

2 基めのハードディスク ドライブの取り付け

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PCのカバーとフロント ベゼルを取り外します(手順は22ページを参照)。
- 3 PC前面のシャーシから固定用ネジ2本を外します。PC背面方向に、トレイをゆっくりスライドします。
- 4 ドライブ トレイに新しいドライブを挿入し、ハードディスク ドライブ トレイ付属のネジでドライブをトレイに固定します。必要なネジは1本だけです。
- 5 PC本体にドライブ トレイを戻し、固定用ネジ2本を締めます。この際、衝撃を与えないように注意してください。
- 6 新しいハードディスク ドライブ背面に、電源ケーブルとデータ ケーブルを接続します。**コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています。**使用するコネクタについての詳細は、30ページの「大容量記憶装置の取り付け」を参照してください。
- 7 PCのカバーとフロント ベゼルを取り付けます(23ページを参照)。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。
- 8 42ページを参照して、取り付けを完了します。



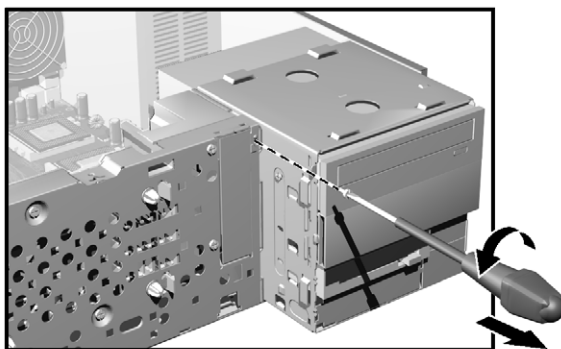
フロント アクセス ベイにデバイスを取り付ける

注記

プロセッサを2基搭載したPCの場合、5.25インチ デバイス(CD-R/W ドライブなど)によっては下段フロント アクセス シェルフに取り付けられない場合があります。このようなときは、5.25インチ デバイスのどちらか長いほうを上段シェルフに取り付けます。

フロント アクセス ドライブ ケージの取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーとフロント ベゼルを取り外します(手順は22ページを参照)。
- 3 フロント アクセス ケージから固定用ネジを外し、スライドさせながら引出します。



- 4 ドライブから電源ケーブルとデータ ケーブルを取り外します。
- 5 PC本体からフロント アクセス ケージを持ち上げて取り出し、テーブルかデスク等の平らな面に置きます。

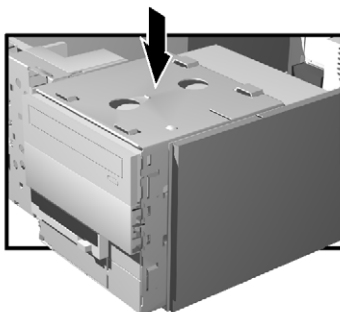
デバイスの取り付け

- 1 5.25インチ用プラスチック製フィラー プレートを取り外します。フィラー プレート左側のラッチ2つをドライバを使って外し、手前に引いて取り外します。取り外したフィラー プレートは大切に保管してください。プレートを取り外す際に、指を怪我しないようにご注意ください。
- 2 新しいドライブにトレイが付属している場合、トレイとフロント アクセス ケージに取り付けます。デバイスによっては、HP提供のトレイを先に付けてから取り付ける必要があります。トレイはHPアクセサリとして別途ご注文ください。CD-ROMの設置にトレイは不要です。

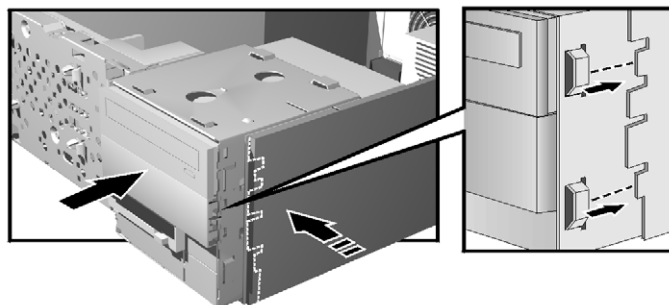
- 3 新しいドライブをドライブ ベイにスライドさせます。新規ドライブと既存のデバイスまたはフィラー プレートの前面が平らで段差がないことを確認します。ドライブ付属のネジでドライブを固定します。

フロント アクセス ドライブ ケージの取り付け

- 1 フロントアクセス ケージをPCの中に戻します。フロントアクセス ケージのリテナーとシャーシの底面とを正しく合わせます。



- 2 取り付けたデバイスに、電源ケーブルとデータ ケーブルを接続します。ケーブルは、下のデバイスから順に接続してください。**コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています。**使用するコネクタについての詳細は、30ページの「大容量記憶装置の取り付け」を参照してください。
- 3 フロントアクセス ケージの金属製ガイドとシャーシの金属製ガイドが正しくかみ合っているか確認します。金属製ガイドはケージとシャーシの両側に2個ずつあります。フロントアクセスケージが定位置に固定されるまでPC背面方向にスライドさせます。



注記

フロント アクセス ケージの位置が正しい場合は、シャーシ上の位置揃え用マークとシャーシ端の位置揃え用マークが横一列に揃います。

- 4 外しておいた固定用ネジを締め、フロント アクセス ケージを固定します。

- 5 デバイスを新しく取り付けした場合、プラスチック プレーットの片側のクリップを外し、プレーットを手前に引いて取り外します。取り外したプレーットは大切に保管してください。
- 6 PCのカバーとフロント ベゼルを取り付けます(23ページを参照)。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。
- 7 42ページを参照して、取り付けを完了します。

CD-ROM ドライブ (DVD ドライブ) の交換

古いドライブの取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーとフロント ベゼルを取り外します (手順は、22 ページを参照)。
- 3 フロント アクセス ケージの取り外し手順については、36 ページの「フロント アクセス ドライブ ケージの取り外し」を参照してください
- 4 ドライブをケージに固定しているネジを取り外し、ドライブをケージからスライドさせて取り出します。

新しいドライブの取り付け

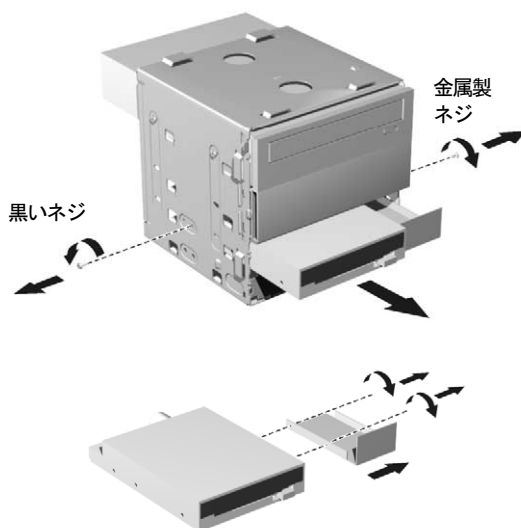
- 1 新しいドライブをドライブ トレイにスライドさせます (正しい方向を向いている事を確認)。新規ドライブと既存のデバイスまたはフィラー プレーットの前面が平らで段差がないことを確認します。ドライブをネジで固定します。

フロント アクセス ケージを PC 本体に押しながら戻します。取り付け方法については、37 ページの「フロント アクセス ドライブ ケージの取り付け」を参照してください。

フロッピー ディスク ドライブの取り付け

フロッピーディスクドライブの取り外し

- 1 フロント アクセス ケージの取り外し手順については、36ページの「フロント アクセス ドライブ ケージの取り外し」を参照してください。
- 2 ドライブトレイ側面のネジ(金属製ネジと黒いネジ各1本)を取り外して、古いドライブを取り出します。
- 3 ドライブトレイホルダのネジを外します。



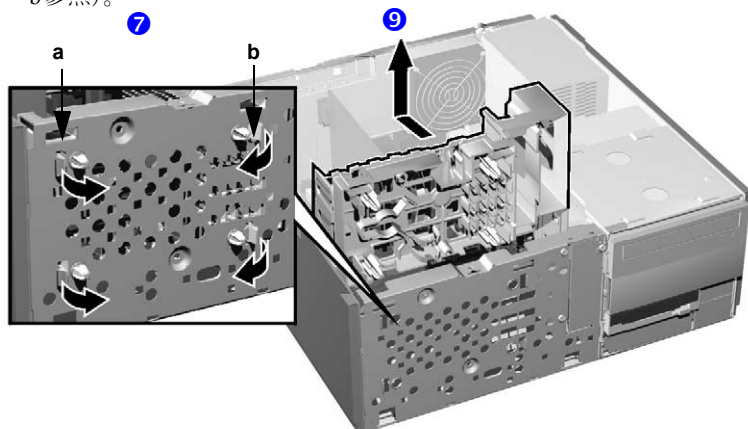
フロッピーディスクドライブの取り付け

- 1 フロッピー ディスク ドライブをドライブトレイホルダに固定します。
- 2 新しいドライブをドライブトレイにスライドさせ(正しい方向を向いている事を確認)、ネジを締めます。
- 3 フロントアクセス ケージをPC本体に押しながら戻します。取り付け方法については、37ページの「フロントアクセス ドライブ ケージの取り付け」を参照してください。

ハードディスク ドライブ ベイとスピーカ アセンブリの交換

アセンブリの取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC 本体のカバーとフロント ベゼルの取り外します (手順は、22 ページを参照)。
- 3 PC 前面左側のシャーシから1 基めのハードディスク ドライブを固定しているネジ2本を外し、ハードディスク ベイからドライブを取り出します。
- 4 1 基めのハードディスク ドライブから電源ケーブルとデータ ケーブルを取り外します。2 基めのハードディスク ドライブが取り付けられている場合は、その電源ケーブルとデータ ケーブルも取り外します。
- 5 PC 前面のシャーシ中央部分から2 基めのハードディスク トレイの固定用ネジ2本を外します。PC 背面方向にトレイをゆっくりスライドしてトレイを取り外します。
- 6 スピーカ ケーブルとコントロールパネル ケーブルをシステム ボードのコネクタから取り外します。
- 7 PC の正面に立ち、向かって左側のプラスチック製クリップを内側へ押します (下図a 参照)。同様に右側のクリップも内側へ押します (下図b 参照)。



- 8 ハードディスクドライブ ベイとスピーカ アセンブリの右側と中央の固定用クリップを外します。

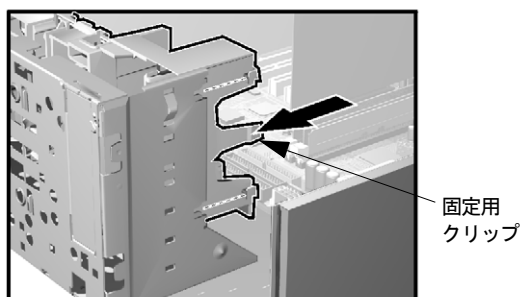
2 HP PC ワークステーションへのハードウェアの取り付け / 交換方法

ハードディスク ドライブ ベイとスピーカ アッセンブリの交換

- 9 ハードディスクドライブとスピーカ アッセンブリを、シャーシの端から十分に離れるまでシステム ボードの方向へスライドさせます(ハードディスクドライブ、スピーカ アッセンブリ、フロント アクセス ケージの間に置きます)。
- 10 ハードディスクドライブ ベイとスピーカ アッセンブリを、PC 本体から持ち上げて取り出します。

アッセンブリの取り付け

- 1 ハードディスクドライブ ベイとスピーカ アッセンブリの下にケーブル等が挟まっていないことを確認します。
- 2 ハードディスクドライブ ベイとスピーカ アッセンブリのプラスチック製のタブ2つ(コントロール パネル側)と切り欠きを合わせます。



- 3 ハードディスクドライブ ベイ前面とスピーカ アッセンブリにあるプラスチック製クリップが対面するように正しく並んでいることを確認します。
- 4 PC の正面から、クリップがカチッというまで、ハードディスクドライブ ベイとスピーカ アッセンブリの右側をゆっくりと押します。左側も同様に押します。
- 5 スピーカーとコントロール パネルのケーブルをシステム ボードのそれぞれのコネクタに差し込みます。
- 6 データ ケーブルと電源ケーブルを接続します。ハードディスクドライブとそのトレイも元に戻します。
- 7 PC のカバーとフロント ベゼルを取り付けます (23 ページを参照)。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。

大容量記憶装置の取り付けを完了する

IDE ドライブを取り付けた場合

- 1 PCの電源を入れます。
- 2 ハードディスクドライブの構成を確認するには、プロンプトが表示された時点で、**(F2)**キーを押して**Setup**プログラムを実行します。
Advancedメニューを選択し、次に**IDE Devices**サブメニューを選択します。**Primary Master**項目を表示し、デバイスの詳細が**Setup**プログラムで正しく認識されていることを確認します。
- 3 **(F3)**キーを押し、設定を保存して**Setup**プログラムを終了します。
- 4 ドライブのパーティション作成とフォーマット手順については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
- 5 IDEドライブを取り外した場合は、コンピュータの電源を入れると、システムBIOSにより、該当するデバイスが見つからないことが認識されます。**(F4)**キーを押して、デバイスを削除することを認めるとシステム構成が自動的に更新されます。

SCSIハードディスクドライブを取り付けた場合

- 1 PCの電源を入れます。
- 2 起動ルーチンの最中にプロンプトが表示されたら、**(F6)**キーを押して、SCSIコンフィグレーションユーティリティを起動します。
- 3 新しく増設したSCSIハードディスクドライブの構成の確認または変更を行います。SCSIハードディスクドライブの構成の詳細については、次のHPウェブサイトから『**SCSI Administrator's Guide**』をダウンロードしてお読みください。
<http://www.hp.com/go/kayaksupport>
- 4 構成が終了したら、変更を保存します。SCSIコンフィグレーションユーティリティを終了し、コンピュータを再起動します。

CD-ROM、CD-RW、またはDVDRドライブを取り付けた場合

- 1 コンピュータの電源を入れて、HPロゴが表示されたら **(F2)**キーを押して**Setup**プログラムを実行します。
- 2 **Setup**プログラムで、**Advanced**メニューを選択し、次に**IDE Devices**サブメニューを選択します。IDEチャンネルでCD-ROMドライブが認識されていることを確認します。
- 3 **(F3)**キーを押し、設定を保存して**Setup**プログラムを終了します。

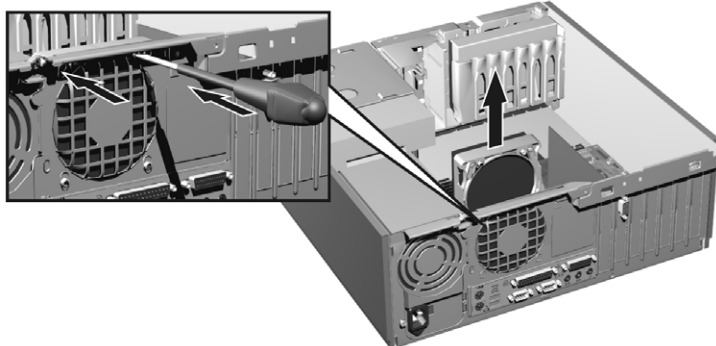
フロッピーディスクドライブを取り付けた場合

- 1 PCの電源を入れて、HPロゴが表示されたら **(F2)**キーを押して**Setup**プログラムを実行します。
- 2 **Setup**プログラムで、**Advanced**メニューを選択し、次に**Floppy Disk Drives**サブメニューを選択し、ドライブが認識されていることを確認します。
- 3 **(F3)**キーを押し、設定を保存して**Setup**プログラムを終了します。

メイン シャーシ ファン の交換

ファンの取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC のカバーを取り外します (手順は22ページを参照)。
- 3 PC背面に立ち、ドライバの先でシャーシ ファンの固定用クリップをかるく内側に押し、ファンを持ち上げてシャーシから取り出します。



- 4 ファン コネクタをシステム ボードの **MAIN_FAN** ソケットから取り外します。

ファンの取り付け

- 1 ファン コネクタをシステム ボードの **MAIN_FAN** ソケットに接続します。

注記

すべてのケーブルをファンから離し、ファンの動作中や次に記載する作業中にケーブルがファンと接触しないように注意してください。

- 2 シャーシ ファンは、一方向にしか取り付けられません。上下各2つあるクリップ間の幅は上のクリップの方が下より狭くなっています。ファンクリップをそれぞれ対応する穴に合わせます。
- 3 カチッという音がしてしっかりと固定されるまで、ファンをゆっくりと下に押し下げます。
- 4 PC のカバーを取り付けます (23ページを参照)。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。

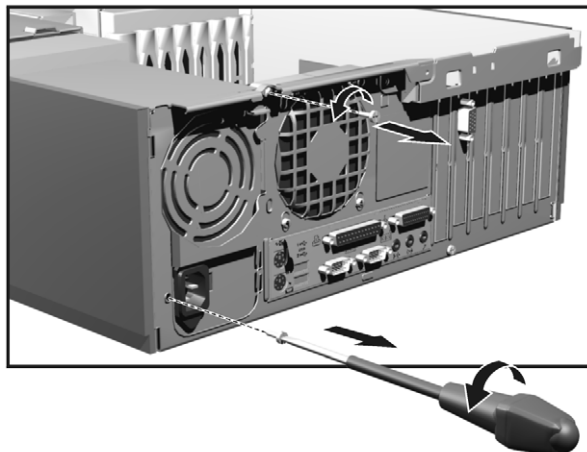
電源装置の交換

警告

HP は、電源装置のアップグレードをサポートいたしません。以下の説明は、故障した電源装置の交換手順です。安全のため、交換する電源装置は HP サポート サービスが供給するものに限定してください。

電源装置の取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します (手順は22ページを参照)。
- 3 内蔵の電源装置コネクタを**すべて**取り外します。
- 4 電源装置を固定しているシャーシ背面のネジ2本を外します。



- 5 電源装置のフロント部分を持ち上げ、手前に引き出して背面のヒンジから外します。

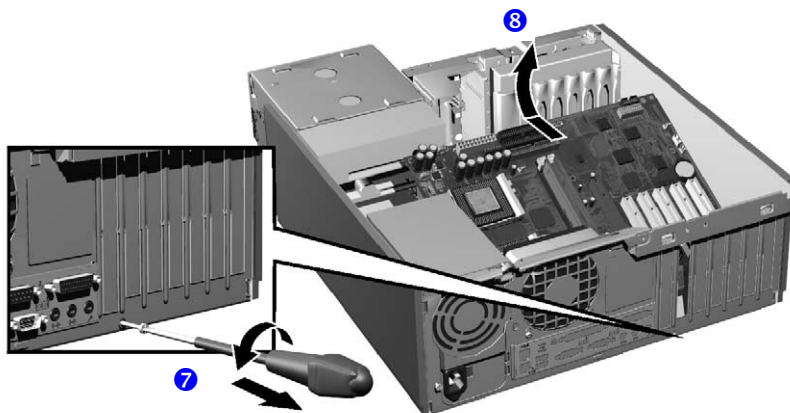
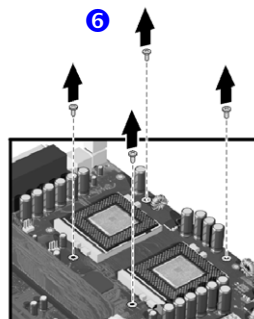
電源装置の取り付け

- 1 新しい電源装置を挿入します。
- 2 外しておいたネジを締め、電源装置を固定します。
- 3 電源装置の内蔵コネクタを**すべて**取り付けます。
- 4 PCのカバーを取り付けます (23ページを参照)。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。

システム ボードの交換

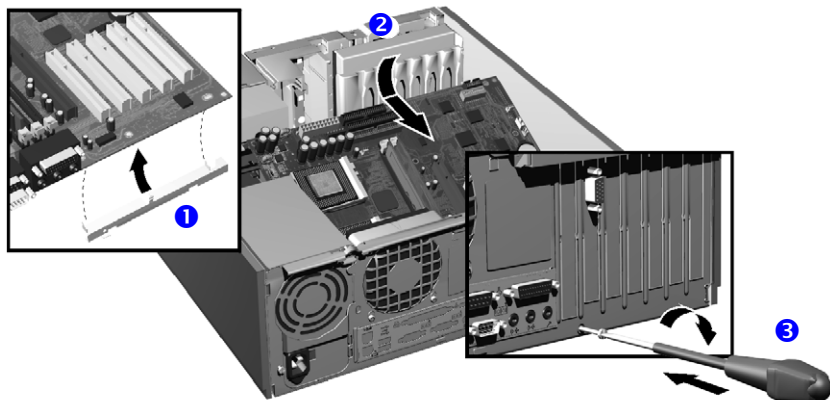
システム ボードを取り外す

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC本体のカバーとフロント ベゼルを取り外します (手順は22ページを参照)。
- 3 システムボードに接続されているケーブルをすべて取り外します。
- 4 フロントアクセス ケージを前方へ動かします (36ページを参照)。
- 5 古いシステムボードから、メインメモリ、プロセッサ、アクセサリカード等をすべて取り外します (本章参照)。
- 6 プロセッサ ソケット付近の4本のネジを外します。
- 7 PC背面のAGPスロット近くのネジ (シャーシ外側)を外します。
- 8 PC背面のコネクタを損傷しないよう注意して、システムボードを取り出します。
- 9 システムボードの固定用ブラケットを外します。本ブラケットは、新しいシステムボードに取り付けます (46ページの「新しいシステム ボードの取り付け」を参照してください)。

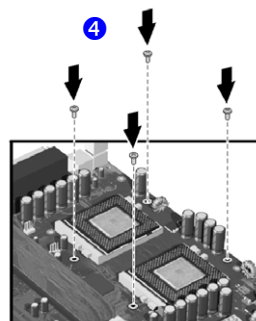


新しいシステム ボードの取り付け

- 1 固定用ブラケットを新しいシステムボードに取り付けます。
- 2 背面コネクタと対応するソケットの位置とを合わせながら、システムボードをシャーシ内に戻し、ガイドピンの上に降ろします。すべての留め具を正しく留めます。背面コネクタがソケット内にきちんと並んでいることを確認します。
- 3 ネジを締め、システムボードを固定します。



- 4 プロセッサ ソケット付近の4本のネジを締め、システム ボードをシャーシに固定します。
- 5 フロントアクセス ケージを元の位置にスライドして戻します(37ページを参照)。
- 6 システムボードから取り外しておいたケーブルをすべて接続します。
- 7 新しいシステムボードに、メインメモリ、プロセッサ、アクセサリカード等すべてを取り付けます(本章参照)。
- 8 PCのカバーとフロンとベゼルを取り付けます(23ページを参照)。電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。
- 9 システムボードの取り付け終了後、BIOSをアップデートする必要があります。



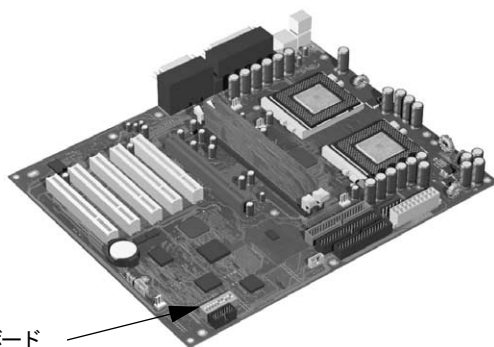
注記

最新版のBIOSおよびBIOSのアップデートに関する情報は、次のWebサイトで入手できます。 www.hp.com/go/kayaksupport

システム ボード スイッチ

設定に使用されるシステムボードのスイッチは10種類あり、1～10までの番号が付けられています。予約されている数字の設定は変更しないでください。システムが故障する原因になります。

スイッチ	デフォルトの設定	設定内容
1-5	OFF	予約。デフォルトの設定を変えないでください。
6	ON	キーボードパワーオンが有効 「オフ」でこの機能は無効
7	OFF	ノーマルモードが有効 「オン」で再起動後BIOSリカバリモードが有効
8	OFF	CMOSメモリを保持 「オン」で再起動後CMOSメモリをクリア
9	OFF	ユーザおよびシステム管理者パスワードが有効 「オン」で再起動後パスワードをクリア
10	OFF	シャーシタイプを選択 オフ＝デスクトップ



システム ボード
スイッチの位置

バッテリーの交換

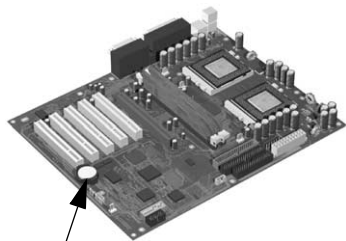
警告

バッテリーは誤ってセットすると破裂する恐れがあります。安全のため、バッテリーを分解したり、穴を空けたり、火中に投げたりしないでください。バッテリーはバッテリーの製造元が推奨している種類のものと交換してください。本 PC に装着されているバッテリーは、重金属を含有しないリチウム電池です。ただし、環境保護のため、使用済みのバッテリーを廃棄する際は、一般のごみと一緒にしないでください。

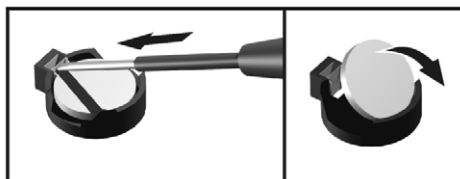
お使いの PC の構成情報が消失してしまうことが続いた場合は、バッテリーの交換時期が近づいています。バッテリーは、電器店にて CR2032 マンガンまたはリチウムボタン電池と指定してご購入ください。

バッテリーを交換するには次の手順に従ってください。

- 1 PC の電源コード、LAN ケーブル、通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 2 PC のカバーを取り外します。
- 3 古いバッテリーを、固定用クリップの下からスライドさせて取り出します。



バッテリーの位置



- 4 バッテリーホルダに新しいバッテリーを置きます。バッテリーの向きが正しく、クリップでしっかり固定されていることを確認します。
- 5 PC のカバーを取り付け、電源コード、通信ケーブル等をすべて接続します。
- 6 Setup プログラムを実行して、PC の再設定を行います。

HP PCワークステーションのトラブルシューティング

本章では、本PCワークステーションを使用する上での様々な問題の解決方法を次の内容に沿って、簡単に説明します。

- 一般的なPCおよびハードウェア障害への対処方法
- HP e-DiagTools ハードウェア診断プログラムの使用方法
- HP イメージ作成/リカバリ CD-ROM の使用方法
- よくある質問
- それでも問題が解決しないとき
- サポートを受ける前の準備

詳しくは、『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。本ガイドは、HP ウェブ サイトからダウンロードできます。

ご利用になるには、<http://www.hp.com/go/kayaksupport/> にアクセスし、ドロップダウン リストから「HP Kayak XM600」を選択します。

PCが起動できないとき

PCの電源が入らない	
チェックポイント	対処方法
電源コードが正しく差し込まれていますか。	電源コードを正常に動作している別のコンセントとPCに接続してください。
電源ボタンLEDが赤く点滅する	
チェックポイント	対処方法
内部ハードウェア コンポーネントが正しく設置されていますか。	次のHP Web サイトから『トラブルシューティング ガイド』をダウンロードして、ご覧ください。 www.hp.com/go/kayaksupport
パワーオン セルフ テストでエラーが発生する PCが起動せず、ノイズまたはビーブ音がする	
起動時にオンスクリーン エラーメッセージやビーブコードが表示された場合は、PCの設定に問題があります。	
チェックポイント	対処方法
パワーオン セルフテストでエラーを起こした設定部分	次のHP Web サイトから『トラブルシューティング ガイド』をダウンロードして、ご覧ください。 www.hp.com/go/Kayaksupport

ハードウェアに問題があるとき

モニタが正しく動作しない...	
PCの電源ランプはついているのに、モニタに何も表示されない。	
チェックポイント	対処方法
モニタの電源は入っていますか (LEDがオンになっている)。	モニタのLED 信号(緑、オレンジ、点滅)の説明については、モニタ付属マニュアルを参照してください。
モニタの電源コードは正しく差し込まれていますか。	電源コードを正常に動作している別のコンセントとモニタに接続してください。
モニタの輝度やコントラストの設定は正しいですか。	モニタの OSD (オンスクリーン ディスプレイ)、またはモニタ前面の調整ボタンを使って設定内容を確認します。
起動時に画像が表示されるが、しばらくすると消えてしまう。	
チェックポイント	対処方法
PC側のモニタ設定はお使いのモニタと互換性がありますか。	<ul style="list-style-type: none">Windows NT: 起動時のプロンプトでVGAモードを選び、解像度をリセットしてください。Windows 95/98: PCを再起動します。HP画面が表示されたら、[F8]キーを押し、PCをセーフ モードで立ち上げます。[コントロールパネル]の[画面]をダブルクリックし、[ディスプレイの設定]をクリックします。スライダを調整して解像度を設定し直します。

3 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアに問題があるとき

キーボードが動作しないとき...	
チェックポイント	対処方法
キーボードのケーブルは正しく差し込まれていますか。	ケーブルをPC背面のキーボード用コネクタに差し込みます。
キーボードが汚れていたり、キーが押されたままになっていませんか。	すべてのキーの高さが同じで、押されたままのキーがないか確認してください。
キーボード自体に問題はありませんか。	正常に動作することが確認されているキーボードと交換するか、このキーボードを他のPCに接続して使ってみてください。
PCは起動するが、まだ問題が解決しない場合...	e-DiagToolsを実行します。53ページを参照してください。

マウスが動作しないとき...	
チェックポイント	対処方法
マウス ケーブルは正しく差し込まれていますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1 PC の電源をオフにします。 2 マウスケーブルを PC 背面の対応するコネクタに差し込みます。
正しいドライバを使用していますか。HP製マウスを使用している場合は、専用のドライバが必要です。ドライバは、HPスクロールマウスに同梱されています。	次のHP Web サイトから最新のドライバをダウンロードしてください。 www.hp.com/go/kayaksupport
マウスは汚れていませんか。	マウス ボールを掃除します。
マウス自体に問題はありませんか。	正常に動作することが確認されているマウスと交換するか、このマウスを他のPCに接続して使ってみてください。
PCは起動するが、まだ問題が解決しない場合...	e-DiagToolsを実行します。53ページを参照してください。

パワーオン セルフテストでエラーが表示されるとき...	
対処方法	
PCの電源をオンにするか、再起動します。 [Press F2 to enter Setup] が表示されたら、[F2] キーを押します。	

ブート前の診断テスト

PCが起動すると、BIOSはパワーオンセルフテスト(POST)を行い、ハードウェア構成に障害がないかを調べます。障害が見つかったら、PCのモニタにエラーが表示されます。

ただし、エラーメッセージを表示することが不可能な状態(例えば、グラフィックスコントローラに障害が発生した場合など)では、代わりにブザー音を鳴らします。その後、連続したビープ音が聞こえます。

このような音が聞こえたら、ビープの数を数えてください。障害原因の検出に役立ちます。

ビープの数	意味
0	システムに問題はありません。
1	プロセッサが不明か、正しく接続されていなかったり、ZIFソケットが正しく閉じられていない可能性があります。
2	電源のプロテクトモードに入っています。
3	メモリがないか、メモリモジュールに障害が起きたか、互換性のない可能性があります。
4	グラフィックスカードに障害があります。
5	PnP/PCIの初期化に問題があります。
6	BIOSが壊れています。障害の回復手順を実行する必要があります。
7	システムボードに問題があります。

メモリ(コード3)、ビデオカード(コード4)、PnP/PCI(コード5)エラーに対しては、e-Buzzerは15秒間のタイムアウトがあった時にのみ検出を行います。

ビープコードを聞き逃したとき

ビープコードがよく聞こえなかったり、聞き逃した場合は、電源ボタンを5秒間以上押し、PCの電源をオフにしてから、もう一度、信号音を確認します。

HP e-DiagTools ハードウェア診断ユーティリティ

HP e-DiagToolsは、ハードウェア関連の不具合を診断するための、正確で信頼性の高いユーティリティです。このユーティリティには、次のような機能があります。

- ハードウェアの構成内容をチェックし、システムが正常に機能していることを検証する。
- ハードウェア コンポーネントを個別にテストする。
- ハードウェア関連の不具合を診断する。
- ハードウェアの構成情報を記録、表示する。
- HP のサポート担当者が不具合を迅速かつ効率的に解決できるよう、正確な情報を提供する。

このユーティリティについて詳しくは、HP Web サイトから『e-DiagTools ユーザーズ ガイド』(PDF 形式、Adobe Acrobat で表示できます)をダウンロードしてお読みください。

HP e-DiagToolsの入手方法

HP e-DiagTools は次の場所に収録されています。

- ハードディスク ドライブ内の専用ユーティリティ パーティション
- 本コンピュータ付属『イメージ作成/リカバリ CD-ROM』
- HP DiagTools CD-ROM
次の HP Web サイトでお申し込みいただけます。
<http://www.hp.com/desktops/diagtools>

HP e-DiagToolsをご使用になる前に

診断ユーティリティを実行する前に、まず、ハードディスク ドライブのユーティリティ パーティションを使用するか、CD-ROM オプションを使用するかなどの実行方法を決めてください。どちらも e-DiagTools が持つ広範なテストを提供しますが、e-DiagTools の全機能を実行できるのはハードディスク ドライブからの起動時のみです。CD-ROM から診断テストを実行する場合は、CD-ROM ドライブの起動優先順位をハードディスクより先に設定する必要があります。

HP e-DiagToolsを起動する

ハードディスク ドライブから起動する場合

- 1 作業中のアプリケーションをすべて終了します。
- 2 [スタート]メニューから、[シャットダウン]、[再起動する]の順に選択して、PC を再起動します。

3 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

HP e-DiagTools ハードウェア診断ユーティリティ

- 3 Kayakのスタートアップロゴが表示され、続いて、次のメッセージが数秒間表示されます。

"Press <F10> to start hardware diagnostics or any other key to proceed".

[F10] キーを押して、HP e-DiagToolsを開始します。

- 4 e-DiagToolsが起動すると、ウェルカム画面が表示されます。画面に表示される指示に従って診断テストを実行します。

『イメージ作成/リカバリ CD-ROM』または『HP DiagTools CD-ROM』から起動する場合

- 1 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、コンピュータを再起動します。
- 2 **[F8]** キーを押して、CD-ROMを最初のブートデバイスとして選択します。
- 3 PCがCD-ROMから起動します。
『イメージ作成/リカバリ CD-ROM』を使用している場合は、メニューが表示されます。e-DiagToolsを実行するオプションを選択します。
- 4 e-DiagToolsが起動して、ウェルカム画面が表示されます。画面に表示される指示に従って診断テストを実行します。

このユーティリティは、診断テストを行う前に、システムの全ハードウェア構成を自動的に検出します。

サポート チケットを作成する

システム構成とテスト結果を正確に記録するために、サポート チケットを作成してください。サポート チケットはお使いのPCに関する重要な情報を含むテキスト形式のファイルです。HPサポート エージェントがお客様をサポートする際の大事な情報になります。

ハードディスク ドライブから e-DiagToolsを実行する場合は、お使いのPCがTCP/IP (インターネット)プロトコルを設定したLANに接続されていれば、サポート チケットを e-DiagTools実行時に直接電子メールで送信することができます。

CD-ROMから HP e-DiagToolsを実行する場合は、サポート チケット ファイルをハードディスクまたはフロッピーディスクのどちらにでも作成できます。

サポート チケット ファイルは、「Support Ticket Viewer」プログラムを使って表示することもできます。

イメージ作成/リカバリ CD-ROM

本PC付属の『イメージ作成/リカバリ CD-ROM』(PC Image Engineer)を使用すると、コンピュータを工場出荷時の構成に戻したり、オペレーティングシステムを変更、再構成したり、ドライバやその他の出荷時にプリインストールされたソフトウェアを再インストールできます。本CD-ROMに収録されているマニュアルや操作ガイドを参考にしながら、ドライバやソフトウェア ユーティリティを使用してプリインストールされているソフトウェアのすべて、またはその一部を復元することができます。

リカバリの種類

『イメージ作成/リカバリ CD-ROM』には、次のような機能があります。

- フルリカバリ: 出荷時に提供されているオペレーティングシステム、ドライバ、ユーティリティ、特別なディスク パーティションを復元します。フルリカバリを行うと、マスターブートレコードに存在するコンピュータウイルスも自動的に消去されます。ただし、フルリカバリを行うとハードディスクが再フォーマットされるので、フルリカバリを行う前に、できるだけデータファイルやソフトウェアを保存しておくことをお勧めします。
- ミニマルリカバリ: SCSIハードディスクにアクセスするために、オペレーティングシステムとSCSIドライバのみを復元します。
- パーシャルリカバリ: CD-ROMの「閲覧可能な」エリアに収録されているドライバを個別に復元します。
- OSマスタファイルのコピー: ドライバを追加インストールするとき、オペレーティングシステムの入っているメディアをセットするように指示された際に使用します。
- HP e-DiagTools: システム構成と動作状態を検証します。53ページを参照してください。

注記

『イメージ作成/リカバリ CD-ROM』を使用して行う操作の一部には、ハードディスク内の内容を消去してしまうものが含まれます。CD-ROMを使用する前に、データや個人用ファイルのバックアップを必ずとっておいてください。

使用前の準備

リカバリ、アップグレード、ダウングレードを行う前に、それぞれの用途に応じたチェックリストを作成すると便利です。Setupプログラムを変更するには、管理者パスワードでログオンする必要があります。また、変更した内容は書きとめておくことをお勧めします。

リカバリ、アップグレード、ダウングレードを実行する

- ❑ CD-ROM のラベルを見て、お使いの PC 専用の CD-ROM であることを確認します (CD-ROM はご使用のモデル以外には使用できません)。
- ❑ 必要に応じてデータファイルとソフトウェア アプリケーションを保存します。
- ❑ BIOS は最新バージョンに更新しておくことをお勧めします。
- ❑ Setup プログラムの設定: BIOS レベルのパスワードをすべてクリアします。Security メニューの [Hardware Protection] 全項目を [Enabled] または [Unlocked] に設定します。[Booting from the CD-ROM] も有効に設定します。Boot メニューの [Boot Device Priority List] で、ハードディスク ドライブよりも先に CD-ROM ドライブからブートできるように設定しておきます。
- ❑ Microsoft 社の『Certificate of Authenticity』(出所に関する証明書) が付属していることを確認します (通常 PC 側面にラベルとして貼付)。

HP e-DiagTools を実行する

- ❑ CD-ROM のラベルを見て、お使いの PC 専用の CD-ROM であることを確認します (CD-ROM はご使用のモデル以外には使用できません)。
- ❑ ハードディスク ドライブよりも先に CD-ROM ドライブからブートできるように設定しておきます。

フルリカバリを行う

フルリカバリは、ハードウェア構成内容によって、約30分から2時間かかります。

注記

このリカバリを行うと、ハードディスク ドライブ(プライマリ パーティション)のすべてのデータを消去してしまいます。実行前に、すべてのデータとソフトウェアをバックアップしておいてください。

- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンし、PCの電源を切ります。
- 2 PC を出荷時構成に戻すため、本PCのご使用開始後に取り付け、標準添付以外のコンポーネントをすべて取り外します。
- 3 リカバリ CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、PCを再起動します。
- 4 **F8**を押して、最初の起動デバイスとして、CD-ROMを選択します。
- 5 コンピュータがCD-ROMから起動し、DOS形式のメニューが表示されます。ハードディスク ドライブの復元を行うオプションを選択します。必要に応じて、[Partitioning & Formatting]メニュー項目を設定する必要があります。このメニューには、次の2つのオプションがあります。
 - Automatic (推奨)
 - Custom (上級ユーザー用)

特に必要でなければ、[Automatic] を選択してください。

- 6 画面に表示される指示に従います。
- 7 最初にハードディスク ドライブがフォーマットされます。この際、システムは何度かリブートします。これは正常な処理ですので、そのまま続行します。操作が完了したことを告げるメッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。
- 8 リカバリ CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
- 9 オペレーティング システムとドライバのインストールが終了します。この時点で、オペレーティング システムの設定を行います。

フルリカバリを完了する

フルリカバリにより、工場出荷時のディスク イメージが復元されます。ただし、次の Web サイトから最新のバージョンをダウンロードして、ドライバを更新しておくことをお勧めします。

www.hp.com/go/kayaksupport

また、アクセサリ ボードを増設していた場合、これらのドライバをインストールすることも必要です。フルリカバリを行う前に保存しておいたデータ ファイルやソフトウェア アプリケーションも、ハードディスク ドライブに復元してください。

ミニマル リカバリ

オペレーティング システムのみを復元する場合は、上記の指示に従い、ステップ 5 で、ミニマル リカバリを実行するオプションを選択します。

ミニマル リカバリでは、本 PC に添付されていた Service Pack をインストールします。Service Pack は、あとで、アンインストールすることが可能です。

本 PC ワークステーションに SCSI ドライブが設置されていない場合、“At least one service failed to start”(起動に失敗したサービスが1つ以上あります)というメッセージが表示されます。このような場合は、[コントロール パネル]、[SCSI] を選択して、ドライバを削除できます。

リカバリ作業を完了する際に、HP が推奨するドライバ(Web サイトからダウンロード可能)、または他社のドライバをインストールする必要があります。

パーソナル リカバリを行う

オペレーティング システムの実行中に、リカバリ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。リカバリ CD-ROM では、ウェブ ブラウザを使用して CD-ROM に収録された必要なドライバを見つけることができます。また、Windows エクスプローラを使用して、ドライバが収録されているディレクトリを参照し、指定することもできます。

ドライバをインストールする際は、Readme ファイルに記載されたインストール手順を参照してください。

よくある質問

Q: オペレーティング システムの再インストールはどのように行いますか。

A: PC Image Engineer というタイトルが付いている、本PCに付属の『イメージ作成/リカバリ CD-ROM』を使用してください。

Q: PC の動作が異常に遅く、おかしいメッセージが表示されます。

A: ウィルス感染の可能性があります。PCに付属のウィルス対策ユーティリティを実行してください。

それでも問題が解決しない場合、PCのBIOSを更新してください。BIOSとアップデート手順は、HPサポート専用Webサイト

www.hp.com/go/kayaksupport からダウンロードできます。

作業中以外のアプリケーションを閉じて、PCに負荷をかけないようにしてください。パフォーマンス モニタについては、お使いのオペレーティングシステム付属のマニュアル(オンラインまたは印刷物)を参照してください。

Q: 新しいソフトウェアをインストールしてからPCの動作がおかしくなりました。対処方法を教えてください。

A: 原因と思われるソフトウェアをアンインストールしてみて、PCが正常な状態に戻るかどうか確認してください。問題が解決しない場合、ソフトウェアの製造元に問い合わせ、互換性に関する問題がないかどうか確認してください。

Q: (Windows NT、Windows 95、Windows 98に) サウンドカードを追加インストールする場合、組み込みのサウンド機能を無効にする方法を教えてください。

A: HP Setup プログラムの[Advanced]メニューで[Audio]項目を無効に設定してください。17ページの「HP サマリ 画面の表示」を参照してください。

Q: 本PCにプリロードされているすべてのオペレーティング システムでUSB ハードウェア デバイスが使用できますか。

A: いいえ。USB がサポートされているのは、Windows 95、Windows 98、Windows 2000 だけです。

Q: このPCは2000年問題に対応していますか。

A: すべてのHP PCワークステーションは2000年への遷移を速やかに処理できるように設計されています。詳細については、次のHP 2000年問題専用Webサイトをご覧ください。www.hp.com/year2000

Q: アプリケーションの使用中に、メモリを解放するように指示するメッセージが表示されました。解放する方法を教えてください。

A: 作業中以外のアプリケーションをすべて終了します。

ハードディスクに残っている不要なファイルをすべて削除します。

Q: 最新のHP ドライバの入手先は？

A: www.hp.com/go/kayaksupport にアクセスしてください。

それでも問題が解決しないときは？

『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。本ガイドは、次のHPサポート専用Webサイトからダウンロードできます。

www.hp.com/go/kayaksupport

その他のアドバイス

- PCを再起動して問題が解消していないかどうか確認します。
- HP e-DiagToolsを実行します。サポートを受ける際に必要な、本PCのハードウェア プロファイル(サポート チケット)を作成して、サポート窓口までファックスまたは郵送してください。e-DiagToolsの使用方法については、53ページを参照してください。
- 問題の対処方法が記載されていないかどうか、次のHPサポート専用Webサイトをご覧ください。 **www.hp.com/go/kayaksupport**
- PCのBIOS (Basic Input/Output System)を更新します。本PC用の最新BIOSとアップデート手順は次のHPサポート専用Webサイト **www.hp.com/go/kayaksupport**からダウンロードできます。
- サポートを受ける際に正確な説明ができるよう、問題の内容を詳しく書きとめてください。60ページの「サポートを受ける前の準備」を参照してください。
- 問題の発生原因について調べておいてください。
- 電話サポートを受ける際は、可能であればPCを起動し、すぐに使用できる状態にしておいてください。
- HP販売代理店またはHPサポートまでご連絡ください。電話が込み合うピーク時間(昼前と夕方)は避けるようお勧めします。詳細については、『HP クイック ユーザーズ ガイド』をご覧ください。HPが実施するサービスとサポートについては、次のWebサイトにも詳しく記載されています。 **www.hp.com/go/kayaksupport**

3 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

サポートを受ける前の準備

サポートを受ける前の準備

サポート担当が速やかに効率良く問題を解決できるように、次に挙げる情報をメモしておいてください。

PCに関する説明	
モデル番号	本PC右側面のラベルをご覧ください。
シリアル番号	本PC右側面のラベルをご覧ください。
メモリ	<div><div><div>• インストールされているMB数</div><div>• HP製メモリか、その他のメーカーのメモリか</div></div><div><div>• メモリの容量はスタートアップ時に [F2] キーを押すことにより、Setupプログラムの [Main] メニューに表示されます。</div><div>• HP製でないメモリとの互換性に問題がある場合があります。HPでサポートし、推奨するのは、HPのメモリ モジュールに限ります。</div></div></div>
不具合に関する質問	
症状について簡単にメモしてください。	
発生頻度	問題が発生する頻度はどの程度ですか。
動作状態	PCが正常に動作していた期間はどのくらいでしたか。
PCに最近加えた変更	最近、PCに対して何らかの変更を行いましたか。
ハードウェア構成	
ご使用のBIOSバージョン	BIOSのバージョンは、スタートアップ時に [F2] キーを押すことにより、Setupプログラムの [Main] メニューに表示されます。
BIOSのパラメータを何か変更しましたか。	問題はSetupプログラムでBIOSに変更を加えた後に起きましたか。
増設したカード(LAN、サウンド、SCSIカードなど)の使用スロットと割り込みの一覧をご用意ください。	この作業は割り込みの競合を調べるためです。e-DiagToolsを実行して、IRQを確認することができます (53ページを参照)。
オペレーティング システム	
現在使用中のオペレーティングシステムは本PCにブリーインストールされていたものですか。	
違う場合、オペレーティング システムのバージョンは？	[スタート]メニューから[設定]→[コントロール パネル]を選び、[システム] アイコンをクリックします。[システム]の下にオペレーティング システムのバージョンが表示されます。
オペレーティング システム エラーを示すメッセージの有無	エラー メッセージの詳しい内容を書きとめておいてください。
ブート(POST:パワーオンセルフテスト)エラーの有無。POSTは、インストールされているコンポーネントをすべてチェックします。	POSTで検出されたエラーはすべて画面に表示されるか、ビーブコードで通知されます。

数字

- 2000 年問題, 58
- 2 基めのプロセッサ
 - 取り付け, 24

B

- BIOS のアップデート, 59
- BIOS リカバリ モード
 - システム ボード スイッチ, 47

C

- CD-ROM ドライブ
 - 取り付け, 38
 - 取り外し, 38
- Certificate of Authenticity
 - Microsoft, 56
- CMOS メモリ
 - システム ボード スイッチ, 47
- CPU ブラケット, 46

D

- DualExpress!, 26

H

- HP DualExpress!
 - 使用, 26
- HP e-DiagTools, 53, 55
 - 起動, 53
 - 使用前の準備, 53
 - 入手方法, 53
- HP TopTools, 20
- HP イメージ作成 / リカバリ CD-ROM, 49
- HP マスター キー ロック, 21

I

- IDE
 - ハードディスク, 31

M

- Microsoft
 - Certificate of Authenticity, 56

P

- PC ワークステーション
 - 概要, 21
 - 起動, 13
 - 起動と停止, 13
 - 終了, 14
 - トラブルシューティング, 49
 - 初めて起動する, 13
 - 梱包を開ける, 11
- PC のトラブルシューティング, 49

- PC ワークステーションの梱包を開ける, 11

S

- Setup プログラム
 - 起動, 17
 - 使用, 17
 - 設定内容をチェックする, 16
 - サマリ画面の表示, 16

U

- URL
 - 2000 年問題専用サイト, 58
 - HP TopTools, 20
 - HP 製ドライバ, 58
 - Kayak サポート Web サイト, 50
 - ソフトウェアとドライバのダウンロード, 20
 - ダウンロードできるマニュアル, 9
- USB デバイス, 58

あ

- アップデート
 - BIOS, 59
- 安全上の注意, 7

い

- イメージ作成 / リカバリ CD-ROM
 - HP e-DiagTools の実行, 56
 - 使用前の準備, 55
 - バーチャル リカバリ, 57
 - フルリカバリ, 56
 - フルリカバリの実行, 57
 - ミニマル リカバリ, 57
 - リカバリ, 56
 - 使用可能な機能, 55
- インフォメーションとヘルプ, 8

か

- 拡張キーボード
 - 目的, 15
- カバー
 - 取り付け, 23
- カバーの取り外しと取り付け
 - ご使用上の注意, 6
- 管理機能, 20

き

- キー ロック, 21
- キーボード
 - トラブルシューティング, 51
- キーボード パワーオン
 - システム ボード スイッチ, 47

技術情報

- 消費電力, 10
- 物理的特徴, 10

起動

- HP e-DiagTools, 53
- PC ワークステーション, 13
- PC ワークステーションを始めて起動する, 13
- Setup プログラム, 17
- と停止, 13

け

警告

- 感電の防止, 6

こ

交換

- CD-ROM ドライブ, 38
- システム ボード, 45
- 電源装置, 44
- ハードディスクドライブ ベイとスピーカ アッセンブリ, 40
- バッテリー, 48
- フロッピーディスク ドライブ, 39
- リア ファン, 43

ご使用上の注意

- 安全上の注意, 7
- カバーの取り外しと取り付け, 6
- 電源コード, 6
- マルチメディア モデル, 6

固定用ブラケット, 45

さ

サウンド機能を無効にする, 58

サマリ画面

- 現在の構成を表示する, 16

し

システム ボード

- 取り外し, 45
- システム ボードスイッチ, 47
- システム ボードブラケット, 45

終了

- PC ワークステーション, 14

使用

- HP DualExpress!, 26

初期化

- ソフトウェア, 14

シングルプロセッサ システム, 24

診断テスト

- ハードウェアの不具合, 53

そ

ソフトウェア

- 初期化, 14
- ライセンス契約, 14
- ダウンロード, 20

た

大容量記憶装置

- 取り付けの完了, 42
- ダウンロードできるマニュアル, 9

て

デュアル プロセッサ

- Windows 2000 の設定, 25
- Windows NT4.0 の設定, 26

電源コード

- ご使用上の注意, 6

電源装置

- 交換, 44

と

ドライバ

- 最新の HP 製ドライバ, 58
- ダウンロード, 20

トラブルシューティング

- PC が起動しない, 50
- アドバイス, 59
- よくある質問, 58

取り付け

- CD-ROM ドライブ, 38
- アクセサリ カード, 29
- 1 基めのハードディスク ドライブ, 34
- システム ボード, 46
- 大容量記憶装置, 30
- 2 基めのハードディスク ドライブ, 35
- フロント アクセス ケージのアクセサリ, 36
- メモリ モジュール, 27

取り付けの完了

- CD-ROM ドライブ, 42
- CD-RW ドライブ, 42
- DVD ドライブ, 42
- SCSI ドライブ, 42
- フロッピーディスク ドライブ, 42

取り外し

- 電源装置, 44
- ハードディスク ドライブ ベイとスピーカ アッセンブリ, 40

取り外しと取り付け

- アクセサリ カード, 29
- 1 基めのハードディスク ドライブ, 34

プロセッサ, 24
フロント ベゼル, 22

に
人間工学的アドバイス
入手方法, 9

は
ハードウェアの不具合
診断テスト, 53
ハードウェアの取り付けと交換, 21
ハードディスク
IDE, 31
ハードディスク ドライブ
1 基めの取り外し, 34
ハードディスク ドライブ ベイとスピーカ
アセンブリ
交換, 40
バッテリー
交換, 48
パワーオンセルフ テスト (POST)
画面, 14

ふ
ブラケット
システム ボードの固定, 45
プロセッサ
2 基めの取り付け, 24
フロッピーディスク ドライブ
交換, 39
フロント アクセス ベイ
デバイスの取り付け, 36
フロントベゼル
取り付け, 23

ま
マルチプロセッサ システム, 24
マルチメディア モデル
ご使用上の注意, 6

め
メモリ
取り付け, 27

も
問題
PC が起動しない, 50
POST エラー, 51
よくある質問, 58

り
リア ファン

交換, 43

ろ
ロック (カバー), 21